



# 西川口 STORY

Ver.1

# キューポラのある街の現在



## 手のひらの歌

作詞 伊黒 昭文／作曲 寺原 伸夫

1 苦しい時には見つめてみよう  
仕事に疲れた手のひらを

一人だけが苦しいんじゃない みんなみんな苦しんでる

話してみようよ 語り合おうよ  
積もり積もった胸のうちを

2 悲しい時には見つめてみよう  
ひどく荒れてる手のひらを  
一人だけで泣くんじゃない じつとじつと我慢しろ

話してみようよ 語り合おうよ  
積もり積もった胸のうちを

3 みんなで笑いあつて見つめてみよう  
汗に塗れた手のひらを  
一人いでは何にもできぬ みんなみんな手を結べ

話してみようよ 語り合おうよ  
積もり積もった胸のうちを

映画『キューポラのある街』で、主人公のジュン（吉永小百合）が元気をもらう歌。



## 西川口は、チャレンジのまち



「キューポラのある街」  
(1962 年 日活)

監督：浦山桐郎  
吉永小百合 / 浜田光夫 /  
東野英治郎 ほか

「あたい高校いくわよ、どんなことがあっても、父ちゃんだってそのうち何かあるわよ、希望をもっていかなきゃ」  
「そうだな、川口の鋳物はアマカス景気だもの、そのうち、いいこともあるよな」

横でたまたま聞いていた友人ノノのお父さん。振り返り、

「そうだと！働く気がありゃ何とかなるよ、お父さんもお気の毒だねえ、でもね、ジュンさん、今の気持ちだよ、どんなことがあっても、へこたれちゃ、おしまいだからねえ」

と励まし、シューマイを差し入れてくれる。

## 店は人がつながり、



## 元気をもらう場所



空気と光と友人の愛。これだけ残って  
いれば気を落とすことはない。  
—ゲーテ「詩集」—

撮影：石塚 高秋

グリーングラス [パレスチナ料理]

川口市西川口1-29-3

048-257-3633



其の醬を得ざれば、食らわず  
—孔子・郷党第十篇—



異味香 [中国・山東料理]

川口市西川口1-26-24

048-258-3256



キッチン  
アジアの台所へようこそ。

西川口駅西口の街並み。タイのムエタイジム、韓国の焼肉屋、中華料理、  
北京パブ、沖縄料理、日本そば、ネットカフェ等の看板が軒を連ねる。  
(2010.3 撮影)





# 色とりどりの モノトーン

大久保 昌俊



川口。この街は、半ば途方に暮れてしまっている。年季が入っているパチンコ店は、どのくらいオートレース場やかつての風俗店とともに、年月を重ねてきたのだろう。違法風俗店はことごとく廃業に追い込まれたため、現在では、一定の区画に十数店舗が営まれるにとどまっている。昼過ぎにもかかわらず、中年の男性が店を出入りして

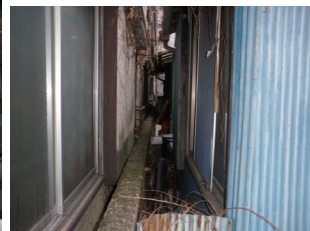
いる。

比較的新しいグレーの壁の中央に、「女の子募集」という看板広告があるが、壁の下方には水道の蛇口が2本とりつけられており、その上に青いホースがそれぞれ下がついている。セックスをイメージさせる広告と、日常的に用いられる水道の蛇口やホースが、同じ壁の平面の構図に滑稽に共存している。この壁の周囲には、工事車の側で作業をしているおじさんだったり、近くの風俗店の入り口には、布団業者の男性が毛布を納品していたりしていた。セックスを行う風俗店は、本来『日常』とは対立した『暗れ』の舞台であるはずなのであるが。

西川口の停滞した日常を表現しているのは、風俗店の一面にとどまらない。その周辺一帯にも、時代に取り残されたような西川口の風土が、色濃く示されている。やけにこじんまりとしたキャバクラやスナック、すっかり色あせた空き店舗、表面がほとんど剥げあがってしまった細長い看板、木板がかさぶたのようにすりむけてしまったアパートのドアやその錆びついた階段、マンションの古ぼけた配管や木箱のポスト、教会のカテドラル像だけがくつきりと着色された時代遅れのステンドグラス、何十年も改装されていないお店の表

装、トタンの建物と木鳥を壁に張り巡らしたアパートとの隙間に窮屈に押し込められかすかに映るガラクタの山、こうした細部のひとつひとつ、そして、これらを備えた建物の連なりと重なり集合が、西川口という街の空気を、見る者に確実に伝えるのである。

西川口にある鉄工所も、その例外ではない。近くのアパートの横で、大きな鉄のフレームが、周囲との境界をわずかに形作っている。その枠組みの中には、全く同じ材質の錆びついた鉄材が山積みになっており、同じく枠内に置かれている青い運搬トラックが真新しくみえる。道路をはさんで反対側にある鉄工所の建物は、トタンを貼り合わせてできているが、その表面もまた、サビやくすみのグラデーションがにじみ出ており、建物の年代の古さを窺うことができる。おそらく、排水



路と建物とのすき間にできた泥まみれの溝に、たまっていることを指し示していると考えられるが、この水溜まりのおもて（水面）は、一種の鏡の役割を果たしており、すぐ側の建物や空の一部を、不思議と明るいモノクロームで映し出している。こうした情景を照らし出す水鏡は、鉄工所の近くを流れている「緑川」と呼ばれる川の水面において、よりはっきりと表現されている。緑色をした網目状のフェンスと、川の湿り気で苔ばんだコンクリートの水路とに挟まれた水面の頭上には、鉄の角材が一定の間隔で架かっており、本来は目にとめることのない水面に映し出された単調な空模様、リズミカルな彩が加えられている。

空（そら）・・・そういえば、先ほど言及した風俗店の一面から少し離れた場所に、細長い長方形のアパートが存在していたが、そのアパートの





に思われるのである。

西川口の街に浮かんだ青空を視野に含めれば、停滞しているかのように見える日常の街の風景も、少し違ったものに見えるのかもしれない。古いコンクリートマンションを仰ぎ見れば、マンションは空を希求しているようにそそり立っている、と捉えることができるし、これまで述べてきた風俗店も、そのパースペクティブの消失点を、青空の彼方に見出すことができるのである。空に向かってのこうした希求は、閉塞された日常を打破しようとする街の隠れた意志を示すとともに、この街の新しい可能性を予感させる。ホテルの、建物の一部を色どる青い曲部の連なりは、背景の青空と対応し響き合っている。筆者は、ひょんなことから西川口の活動に片足を突っ込むことになったが、この街のよりよいポテンシャルを、この街に生きる人々を通じて、少しでも引き出すことができれば、と思っている。最後に、彼らは、都会に生きる君たちは、青空を見据えた我々は、これからどこへ向かい、どこを目指すべきなのか？ 西川口のまちづくりをとおして、その答えをきつとつかみとれるものと信じて…。



脇に取り付けられた窓には、周囲の木々や住宅に混じって、青い空がぼんやりと映し出されていた。その窓ガラスは、茶色を基調にところどころ白ばみところどころ黒ずんだ木部に縁どられているが、一部が割れて亀裂が走っており、その亀裂にはセロハンテープが絆創膏のつぎはぎのようにあてられ、修繕された形跡が露になっている。ガラスが割れた時の衝撃が放射状に描かれているが、その放射模様を中心、つまり衝撃波の震源には、小さな丸い穴がポツカリと空いていて、刃物によって切りつけられ傷ついた片目のように見える。そのささくれた△一つ目▽が、周辺をじっと覗いているようで、その網膜によって結びつけられた風景の残像が、あたかも窓ガラスに投影されているかのように感じられた。いずれにせよこの窓は、西川口の情景および質感、何より青空の微妙な濃淡を色鮮やかにとらえている。

鏡のメタファー（隠喩）を次々と類推していけば、公園の片隅に捨て置かれたアルミ製の煙草の灰皿に溜まった、ニコチンで褐色に染まりきった雨水も、西川口の街を覆っている青空の断片をわずかに切り取っていると考えられるし、公園に敷き詰められた白く輝く砂地も、青く澄んだ丸天井の合わせ鏡のようにとらえることもできるような



# 目次

## 巻頭グラフ

- キューポラのある街の現在 1  
色とりどりのモノトーン . . . 大久保 昌俊 8

## オピニオン

### 新・西川口まちづくり

- ・グローバル価値創造都市へ . . . 早田 宰（早稲田大学） 16  
・「人財」協同による地域活性化 . . . 木村裕美（早稲田大学客員研究員） 18  
・既存資源を活かす市民まちづくりファンド . . . 岡田昭人（早稲田大学客員研究員） 20  
・地域再生の日韓比較 . . . 朴成賢（バクソンヒョン）（早稲田大学大学院） 22

## 解説 西川口のまちづくりは今

- ・広がる川口の地域協働まちづくり . . . 石塚高秋（早稲田大学） 24  
・西川口の過去・現在・未来のコンテクスト . . . 橘麻由（早稲田大学） 26  
・「コ・ラボ西川口」開設と現在の活動 . . . 野口琢生（早稲田大学） 30  
・コ・ラボ技術研究部（コ・ラボ技研） . . . 石塚高秋（早稲田大学） 32  
・試食イベント 離島キッチン . . . 石塚高秋（早稲田大学） 34  
・川口横曽根で伝わる江戸からくり人形  
「からくり人形カフェ」という劇場空間 . . . 半屋 春光（インタビュー）早田研究室 36

## 新しい西川口ライフスタイルの達人たち

- ・西川口ストーリー ①～⑦ 40

《インタビュー・文》 早大早田研究室

《イラスト》 もろがまさし×山川賢一郎

## NEXT 西川口

- ・まちはみんなでつくるもの ―新しい2010年へ― . . . 橘麻由（早稲田大学） 54  
・西川口まちづくりへの期待 . . . 新井俊雄（株式会社アライ代表取締役） 56  
・ユニバーサル商店街実行委員会 . . . 小久保亮治（そば処二幸） 59

## 四力国語で紹介！

### 学生が選んだ西川口グルメ見てある記

- あとがき 80



学生が選んだ西川口グルメ

## ちやい九炉

「ちやい九炉」  
ヤレンジ店舗としてオープンした「ちやい九炉」。お店に入ると正面に大きな黒板があつて、おすすめメニューが目に入ってきます。その横には店員さんひとりひとりのメッセージが書いてあつてアットホームな雰囲気です。



黒板に書かれたメニュー。壁を彩るのは色鉛筆で、店内は遊び心がいっぱい。楽しくにぎやかに飲みたいなお店です。

メニューは串ものが中心ですが、どれも1本90円から150円とリーズナブルなお店のたれは二度つけ禁止！盛り合わせも多少であれば、オーダーの際に希望を聞いてもらえます。

お酒のメニューはホッピーから日本酒まで幅広く扱っています。特に日本酒は酒屋さんお勧めの美味しい銘柄が置いてあります。京都の玉乃光は店主さんもおすすめです。

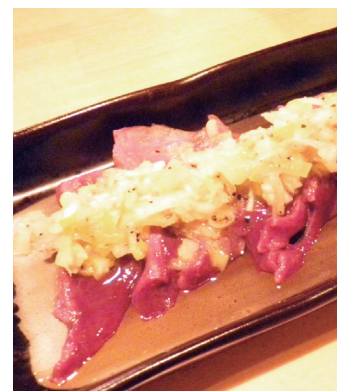


串もん 煮 盛り合わせ：  
煮もののほかに、焼きものや揚げものなど「串もん」が看板メニュー。

自慢の一品は朝豚豚シリーズ。朝3時にしめた新鮮な豚をつかった料理です。厚切りの新鮮なレバテキはお酒との相性もばっちり。

お店のメニューももちろんですが、アットホームなお店の雰囲気でもとても楽しめます。

少し懐かしい小物にも注目しながら楽しい時間を過ごしてみようかしらうか。



朝豚豚 レバテキ

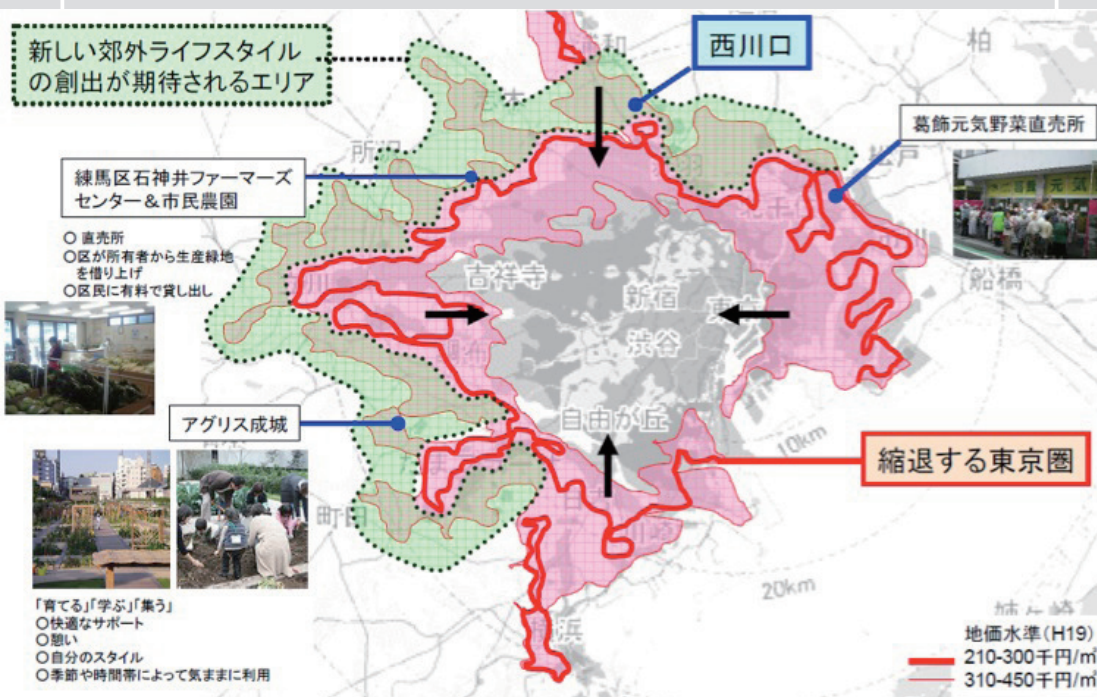


オリジナル焼酎「九つの想い」

オピニオン

## 新しい西川口

## まちづくり論





# グローバル価値創造都市へ

## 道義的な繁華街？

西川口は、街の新たな魅力づくりに取り組んでいる。世界的に、麻薬取引、テロ、資金洗浄等の国際犯罪が活発化し、その温床となりやすい歓楽街のコントロールが強化される方向にある。その影響を受けたものであるが、今後もその流れは続くだろう。

歓楽街そのものが悪いのではない。それが犯罪インフラに転化しやすいことが問題なのである。「道義的な繁華街」をつくる主体的な姿勢がまちに問われている。それができれば、ただの時代遅れの郊外駅の商店街になってゆく。

## 何が君の幸せ何をして欲ぶ

歓楽街に求められるニーズは変わっている。かつては欲求不満を解消する場所であった。しかし、現代社会では、もはや単純な憂さ晴らしでは誰も満足しない。

自分本来に還れるコミュニケーション、つながりの回復、イニシアチブをとれる自己効力感 (self-efficacy)、あるいはユビキタス (場所と時間を特定しない) 自由そのものを楽しむ、など様々

である。自分の瞬間 (とき) を求めて、それに出会うためには国境を越えてまで彷徨しようとする。

## 郊外という場所性

都心から8キロ、電車で三〇分の郊外という距離感、個人の尺度の中で大幅に伸縮する。もし、かけがえない意味や場を提供できれば、世界中からアクセスさえある。それが提示できなければ、隣の駅でも人はこない。

そのような背景から、世界のグローバル都市で、郊外で新たな価値を創出するチャレンジを発信するスポットの注目度が高まっている。それらは、かつての中世都市の城壁の外、港湾部、工場地域、移民街等の周縁である。新たな地域イメージを獲得することにより、結果として過去の負のイメージを清算することもできる。

「創造都市」または「チャレンジシティ」に取り組む横浜、柏、三鷹



## グローバル創造都市の条件

郊外の創造都市は、革新的な地域経営、市民の創造活動、それに対する公共支援によって創造される。郊外は、生存競争の激しい都心部からエスケープし、職住近接の暮らしと地域の伝統文化の中から新たな可能性を模索したり、都市と田園が融合した新しい郊外のライフスタイルを創造実践することも可能である (前頁参照)。

日本でも、柏、横浜、三鷹でも、このような「創造都市」または「チャレンジシティ」をめざす動きがある。本書の「西川口ストーリー」をみると、西川口が、東京の北部の候補地として名乗りを上げる資格を十分備えているように思われる。チャレンジはアートのこたわる必要もない。食、農、伝統文化からの「離島キッチン」「からくり人形カフェ」は、その模索のための小さな社会実験であった。今後の展開を楽しみにしている。

パリのマレ地区 (上)

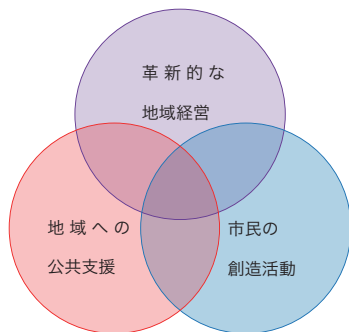
ユダヤ人街で、同性愛コミュニティとなった。現在は文化芸術の最先端のまち、さらに環境ライフスタイルのまちに変化し、賑わう。

中国北京の798芸術区 (下)

黄銳 主編

(timezone8+ 思想手設計)

工場を改造したギャラリー。周囲に中国や日本など外国のギャラリーが多く立地し芸術家コミュニティへ。都心から10kmの距離であるが、そのためだけの観光客が多い。



チャレンジシティの条件





# 「人財」協同による地域活性化

## B級から永久グルメで飽きない商いへ

西川口をB級グルメの街にして活性化させようということで「埼玉B級ご当地グルメ王決定戦」を誘致し、そこから「キューボラ定食」という新たな名物が生まれた。「キューボラ定食」は埼玉県による「地域資源」にも認定されている。なぜか工業製品として認定されているのだが、現在は残念ながら増産体制にはなっていない。

その後も「川口B級ご当地グルメ王決定戦」等も実施して、地元の商店会の方々もそれぞれの店で新たなメニュー開発に励んでくれた。

しかし、消費者は移り気なもの、イベントで足を運んでも、日常的な街の利用はまた別物である。近隣の店が共に切磋琢磨してきたメニュー開発を、今後も継続していくことで、お客様が日常的に立ち寄りたくなる魅力ある逸品を生み出したい。本当に飽きのこないA級Ⅱ永久グルメを提供し続けることが何度もある。

島キッチン」は他の離島の食品も提供しており、新たな食の資源として地域の消費者にも十分魅力的であったことが、2日間の試食会のアンケート結果となって表れた。細胞が破壊されず、解凍後に鮮度が生き生きとよみがえる高速冷凍技術を活用した鮮度の高い食材を活用した寒シマメ漬け丼は大好評だった。販売拠点としての運営や料飲店への食材の供給ためには、物流コストを含めた価格対応など今後の課題は多々あるが、地方の魅力をアピールする消費地として、西川口の可能性が一つ芽生えたともいえる試食会となった。

## 人財こそが最大の地域資源

地域の活性化には①既存資源をまず有効活用することが重要である。②ただこの既存の地域資源が明らかにあって特にC A Sという凍結しても細胞がいない場合は、その発掘から始めなくてはならない。③また明らかにあったとしても単独では効率的に力を発揮できない場合がある。その場合は、地域の資源を活用するために様々な連携や協同ができる大きな動きにつながることがある。しかし、④それでも足りないものがあるときは、外か

## 西川口においしい「離島」がやってきた！



寒シマメ漬け丼 [海士町]

高速冷凍技術を活用した「寒シマメ漬け丼」は、冷凍しても細胞が破壊されず、解凍後の鮮度はほとんど生と同じで大好評だった。

鶏肉、錦糸卵、ノリを載せたご飯にあつあつの特製ガラスープをかける奄美鶏飯 [奄美市]



会場となったコ・ラボ西川口

らの力を借りたり、⑤新たな資源を育成したり、創出していくことも、もちろん有効な手段であるといえる。

大きな力で「洗濯？」された西川口だが、今度は新たな魅力づくりのために、まずあらゆる地域資源の棚卸を行い、地域の住民や商・工・農業者自身がこれらを取捨選択していかなくてはならない。そのためには、既存の地縁組織だけでは困難であることも多い。特におなじ通りにあるというだけで組織化された商店会の形骸化が進んでいるのは、何処も同

様である。新たに事業を始めるためには、新しいネットワークが必要となってくる。

西川口においても、現在の取り組みを活かして今後事業を発展的に推進するためには、より機動力をもった安定的な活動母体が必要となってくるであろう。「共通の目的、信頼関係、貢献意欲」で人財といえる有志が結ばれた、新たな組織の形成が望まれる。大きな環境変化の中それぞれが意識改革を行い、その上で協同することで新しい魅力創出をしようとしている地域の方々こそが、最大の地域資源ではないかと考える。



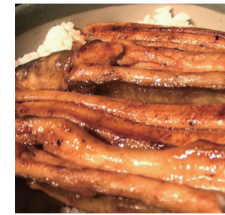
海士町観光協会の佐藤喬さん



「離島」と「まち」のコラボ



さざえカレー [海士町] と天然あなご丼 [兵庫県家島]



## 海のないう埼玉だから、「離島キッチン」

ただ、埼玉には海がない。そのため海産物は地方から仕入れる必要がある。時を同じくして海産物のPRにやってきたのが島根県海士町の観光協会だ。あいにく西川口のチャレンジショップへの出店を検討しながら応募には間には合わなかった。しかし、海士町が運営する移動販売車「離

木村裕美（早稲田大学客員研究員）

足を運んでもらうことにつながるのではないかな。そんな想いから新たなメニュー開発を共に行っていくという活動が始まった。川口の基幹産業であった鋳物をイメージして鉄分豊富なひじきを使った「キューボラ定食」だが、今度は食材そのものにもこだわって川口の食材のみならず埼玉県産の食材の活用を考えようと、地域資源活用研究会が商店会の垣根を超えた有志により動き始めた。試作をするなかで、かつて川口で作られていた味噌のレシピ復活ができないかという模索も始まった。グルメ王入賞店もタッグを組み、さらにあらたな仲間づくりも始まった。



# 既存資源を活かす市民まちづくりファンド

…岡田昭人（早稲田大学客員研究員）

## まちづくりを循環させるしくみ

西川口の再生に向けて「住民参加型まちづくりファンド」制度を活用して、まちづくり事業の資金支援の新しい仕組みが導入されることとなった。これは（財）民間都市開発推進機構（通称ミント）から今後のまちづくり事業の呼び水となるための助成金と市民からの寄付金を合わせて川口市が西川口駅周辺都市整備基金を発展させて制度化したものである。今後西川口で展開される市民によるまちづくり事業の立ち上げの時点などの資金不足の解消や活動拠点の整備、活性化や安全・安心に暮らせるためのハード整備のテコとなる資金としての活用が想定されている。

まちづくり事業というボランティア団体やNPO、町内会・自治会や商店会など地域組織などが行っている身近な取り組みから大規模再開発事業まで幅広く多様である。しかし公共事業と市場原理に基づいた民間事業の開発だけでは地域の課題解決を図ることが困

難であるため、市民が主体となつてまちの再生の事業を行うことによつて地域に相応しい民間開発を誘導し、また必要な公共施設整備と連動していくことが期待できる。

## まちづくり事業は多様な主体による協働の布陣で

まちづくり事業とは、市民・住民など地域のまちづくりの担い手が、協働の組織によつて地域資源と地域の要望を顕在化させることで進める自律的な活動をいう。そのために地域の多様なまちづくり事業の担い手が、分野や専門性、立場などを越えてプラットフォームと呼ばれる共通の場をつくり、それぞれの事業の調整やまちの将来像について、専門家からの支援を受け、また自分以外の事業や公共事業との役割分担などの調整をすることで、それぞれのプロジェクトを有機的に連携させ、単独事業では実現できない大きな効果をもたらす持続的で創造的なまちづくり事業へとさらに展開していく。

ただ、実際に事業をしようとする市民が行

う事業では、事業資金の調達に困難になりがちである。それは、短期間では効果が出てくれないものがあること、収益性の低い事業になる場合があること、これまでの市民活動とは違い住宅建設や設備投資等を伴うなど比較的大きな資金を必要とする場合も少なくない。意欲があつても資金手当てができず進めない状況になる可能性が高い。特に事業の担い手がNPOや地縁組織の場合、組織として信用・担保能力等の問題で一般の金融機関から融資を受けることはきわめて困難であろう。

## 中間支援組織の機能は

そこで、今回の西川口駅周辺都市整備基金である。市民は地域の課題解決に取り組む活動団体（「事業者」市民）を組織し、資金面での支援としてこの基金を活用できる。もちろん助成申請された事業内容は地域のまちづくり事業として相応しいかどうかの審査を経る。

しかし、実はこの基金を利用した事業が開始されてからのモニタリングが重要である。それぞれ助成したまちづくり事業が資金手当てが終わって完結するのではなく、いかに持続的、創造的に次のまちづくりに繋がっているかを確認し、第2第3の事業につなげ、その資金調達の仕組みをつ

くること、ミントが「呼び水」として市の基金に抛出した本来の意味がある。継続的なまちづくりのために基金を発展させて自律的な市民ファンドを組成することで、課題解決に向かう力を市民がつけ、中間支援機能として、情報提供や運営支援、人材育成、組織・団体の連携支援、専門家のアドバイスや派遣、講座開催などと併せて、これからの市民社会に対応したまちづくり事業を行う資金調達支援機能を持った中間支援組織をつくっていく道筋が描けるであろう。

市民ファンドの仕組みを支える背景には、市民による「預金したお金が既存の金融機関によつて地域に循環せずに意に沿わない運用をされるのではなく、自分の望む社会を、未来を創るために、自ら望んで自分のお金の運用先を選ぶ」という市民の志のあるお金を出資してもらうことにある。これは住民の事業への参加意識を引き出すきっかけともなり、事業内容の積極的な公開と評価指標にもとづく事前事後の事業評価をせざるを得ない状況となり、地域経済にとつてもよりよい循環をもたらすという仕組みを市民自らつくりだすことになる。

いままさに西川口のまちは転換期にあり、この瞬間に立ち会えることは無常の喜びと言える。



市民まちづくりファンドを活用したクオレ・プロジェクト（山形県鶴岡市）

まちなか活性化をめざした高齢者向け住宅とレストラン。私募債をつかい、空き店舗の改修費1900万のうち、一口10万で1000万程を地元の商店街を中心に集めて実現した。配当は地元の人はレストランの食事券を、遠方からの出資者には庄内柿やだだちゃ豆を送ってくれる。

まちづくり事業は、多様な主体による協働の布陣で



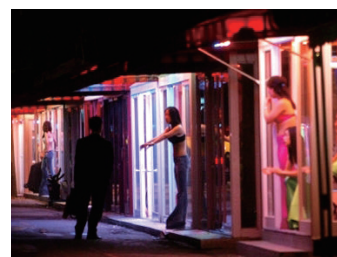
## 地域再生の日韓比較

： 朴 成賢（早稲田大学大学院）

最近、都市再生やまちづくりが世界的に浸透してきているが、韓国でも多くの都市再生事業が行われている。その中でも今注目されているのは、西川口と同様に性風俗業で有名だった、ソウルの清涼里地区の都心再開発事業である。清涼里は朝鮮戦争以後、ソウルの代表的な性風俗産業の集結地として有名な場所だ。この地域は、ソウルの5大副都心に属するが、性風俗街という否定的イメージを脱皮できず、在来市場や露天商などが密集している中、開発が進まなかった。

しかし清涼里では、「性売買特別法（2004年施行）」による取り締まりと、清涼里駅民間駅舎事業の開始による風俗店の部分的な撤去が始まり、2010年3月には、78店舗全てが撤去された。これを機に、50年にわたり清涼里が持っていた歪んだ偏見と否定的イメージが、一掃されることになった。この地域は2013年までに、54階建てのランドマークビル1棟をはじめ、30〜44階の建物5棟と、大規模緑地、文化公園などが建てられる予定だ。

しかし、この再開発事業を始めるにあたって、まちづくりの世界的流れとしての、住民参加がまだ不十分であるドイツの哲学者ハーバーマスがコミュニケーションの重要性を強調したように、今後は、特に計画過程において幅広い住民参加が事業の成功のカギを握るだろう。



ソウルの性風俗街として有名だった清涼里（チョンリャンリ）。違法店舗の摘発と都市再生事業が2009年にはじまった。

근자에 전세계적으로 도시재생, 마을 만들기가 인구에 회자되고 있는 바, 한국에서도 도시재생사업이 한창이다. 그 중 눈의 뛰는 곳은 니시가와구찌와 유사한 상황의 풍속업이 즐비한 서울의 청량리지역의 도심재개발사업이다. 청량리는 한국 전쟁 이후부터 서울의 대표적인 성매매 집결지로 유명한 곳이다. 이곳은 서울의 5대 부도심에 속하지만, 집창촌이라는 부정적인 이미지를 벗어나지 못하고, 재래시장과 노점상 등이 밀집되어 있어 항상 개발의 그늘에 가려진 채 낙후되어 있었다. 그러나 이곳은 2004년부터 시행된 “성매매특별법”으로 인한 단속과 청량리역 민자역사사업이 시작

되면서 부분적으로 철거가 시작되어 최근에 78동 시설이 모두 철거되었다. 50여년 동안 청량리가 가지고 있던 왜곡된 편견과 부정적 이미지를 변화시키는 계기가 되었다. 이 지역은 2013년까지 54층 높이의 랜드마크 빌딩 1동을 비롯, 30 - 44층짜리 건물 5동과 대규모 녹지, 문화공원 등이 들어선다. 그러나 아직까지 이 사업에 있어 전세계적인 계획의 패러다임의 흐름인 주민과 지역사회 참여와 노력이 가시화 되지 않고 있다. 독일의 철학자 하버마스는 의사소통의 중요성을 강조하였듯이 특히 계획과정에 있어서 폭넓은 주민의 참여가 사업의 성공의 관건이 될 것이다.

<http://www10.tok2.com/home/madang/sara/sarang.cgi?page:72=v>  
<http://cpeuny.egloos.com/2335220>

## 解説

# 西川口の まちづくりは今





# 広がる川口の地域協働まちづくり

## いわゆる「協働」と呼ばれるものとは

一般的に行政と市民の間で公共サービスを相互補完的に担い合う関係のことを指す。市民ニーズの多様化と行政悪化に伴う行政サービス範囲の縮小が、このような公共サービスの新しいあり方に関する議論の背景にあるのだが、川口市もこの点では例外ではなく、むしろ全国的にも率先して協働を推進する先進的な取り組みを行って来た。1998年に県内で初めて創設された自治振興ボランティア係（現・かわぐち市民パートナー・ステーション）はその一つである。「川口市市民活動と行政との協働推進懇談会」をはじめ、今まで市民と積極的に対話を行いながら、公共サービスを誰がどのような形で担っていくべきか模索してきた。

近年明らかになってきたのは、これら行政と市民という関係の枠に当てはまらない、新たな協働のかたち「が草の根のまちづくりの中から生まれてきており、それら様々な形の協働が重層的に都市に展開されることであたかも全体で一つの公的な機能を果たす「協働有機体」を形成しつつあることだ。

現在では行政もそれに気づき積極的にそれらを支援しようという動きになっている。

川口市は多様性に富む地域である。JR川口市周辺の高層マンション街から、安行ののどかな田園まで有し、またそこに住む人々も出身、国籍、価値観、所得階層など実に多様である。その「こちゃつ」とした中で人々が自由に行き、新しいつながりを作る余裕が川口は持っている。それが川口の協働の強さである。つまり、本人の意図したところをはみ出して、つながるはずのなかったところが、つながってしまう。その一種の「ゆるやかさ」が川口全域に島宇宙的に存在している活動団体をゆるくつなげ、必要に応じて協



高齢者の声を受けて常連客が安心おとどけ隊にいく「エコ工房ひだまり」  
(東京新聞 2010年1月9日)

### 協働フォーラム

「市民の知恵と力を活かそう！」をキャッチフレーズに、市民と行政の協働事例発表や市民団体のパネル展示などが行われた。岡村市長は協働に対する想いを「愛郷無限 街創皆民 協力協働」の文字に託し発表した。  
(H 20.3.18 フレンディア)



町会主催のイベントで協働するNPO団体と参加した子供、学生たち  
(2008年 飯塚2丁目町会)

## 都市型市民活動のフロンティアのまち川口

… 石塚 高秋（早稲田大学）

一般にまちづくりといえはそこに町内会や自治会など地縁団体が含まれることは暗黙の了解であった。しかし、川口のようなマンション住民が急増する地域では地縁団体そのものの質の変化は避けられず、半ば機能不全に陥る地縁団体が出てくるなか、地域の安心安全や防災、子育てなどの要求は新規住民の数に比例して増加していった。こうした状況は今日に至るまで川口の市民活動に一つの大きな特殊性を与えている。つまり、地縁団体のネットワークがうまく生かせない「ゼロ」の地点から、独自のネットワークを駆使して自力で何とかしようというチャレンジ精神が、特定のテーマを持って活動する地域コミュニティ組織やNPO、商店街、マンション管理組合などに根付いていることである。あるコミュニティカフェのオーナーは、コミュニティカフェという言葉自体存在しなかった時代に自力で店舗を構え、現在はコミュニティ作りをはじめ様々なまちづくり活動を行うまでに至っている。こうした開拓心に富んだ団体が川口では比較的多く見受けられる。

## 広がる協働の裾野

働の体制を組めるネットワークインフラを現在形成しつつあるのだ。それは都心ほどパーソナルなつながりが錯綜していないフロンティアを生き抜く知恵の一つの結晶でもある。

協働のチャネルは市役所のカウンターだけでなく、カフェに、公園に、居酒屋に、あらゆる都市空間に散らばっている。二〇〇九年に川口市全域で行われた早稲田大学による社会調査では、協働と呼ばれる互恵的關係が市役所の中だけでなく、まちなかの飲み屋やコミュニティサロン、交流会や勉強会などで多く生まれ独自の公共サービスを提供しつつあることが浮き彫りになった。とりわけ企業と市民団体との協働が目立って増えてきており、「市民事業型NPO」と呼ばれる経営力や事業提案力に優れたNPO団体が主にそれらを牽引している。また企業の社会的責任（CSR）に対する関心の向上という社会的潮流がそれらを後押しすることでより多様な協働の形を提示しつつある。まちづくりを担う主体は多様化しており、参入もしやすくなってきている。

## 「地域協働体」を

協働が多様な展開を見せる今、それを支える仕組みが必要である。総務省の「あたらしいコミュニティのあり方に関する研究会」では地域における多様な公共サービス提供の核となり、また地域の多様な主体による公共サービスの提供を総合的、包括的にマネジメントする組織として「地域協働体」を国の政策に盛り込むことを提言している。実際に地域協働体の立ち上げや初期段階の運営に係る経費等を支援する実証的な事業を来年度から実施する予定だ。

今や協働は新しい局面に来ており、川口でもその芽が開き始めている。こうした新しい芽を西川口でも育て、支えることができれば、協働のまちづくりがいつか大きな実を結び、川口市に果実をもたらすに違いない。

## 郊外都市・川口から見えてきた「地域協働体」



# 西川口の過去・現在・未来のコンテクスト

## 急速に市街化した西川口

新編武蔵風土記 稿巻之百州五  
安立郡之一 正保年中改定図

横曽根地域は、荒川沿いの低  
湿地帯であった。荒川が乱流  
し水害を受けやすく、埋め立  
てや盛り土が必要であった。

武蔵風土記によれば、正保年間（一六四四年頃）  
に横曽根村は形成されたという。江戸時代、川口  
は幕府直轄地となり、関東郡代の伊奈氏の支配下  
となった。現在のＪＲ西川口駅のある横曽根村あ  
たりは中山道蔵宿と日光御成道の川口宿のちよう  
ど中間に位置する。水田が主な土地利用であつた。  
都市化に伴って、地区住民の間から新駅開設の要  
望が盛り上がってきたのは一九二〇年（大正九年）  
頃からという※。

戦後、一九五三年（昭和二八年。）九月一日、  
新駅が開設した。茫々たる開けた水田地帯がまた  
たく間に住宅・商業地域にかわっていった。西川  
口は、商店街・繁華街として形成されていった。

※「引用」元木靖編著「地図に刻まれた歴史と  
景観」三・明治・大正・昭和 川口市・鳩ヶ谷市・  
新人物往来社、42頁



（慶野富壽子氏提供）

… 橋 麻山（早稲田大学）

- ①三和町（みつわちょう）  
は同潤会の流れを受けた住  
宅営団によって昭和16年  
に建設。
- ②現在の JR 西川口駅周辺
- ③ユニオンビール川口工場



西川口駅開業当時の西口の風景（昭和28年）

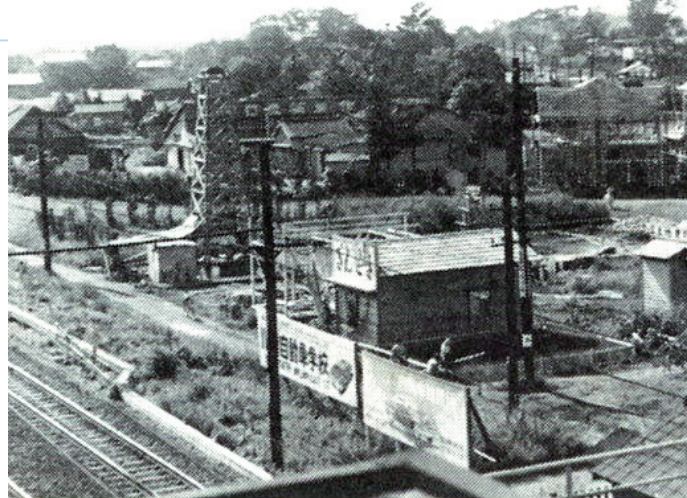
【出典】西川口駅開業30周年記念入場券の写真（東京北鉄道管理局，昭和59年9月1日）



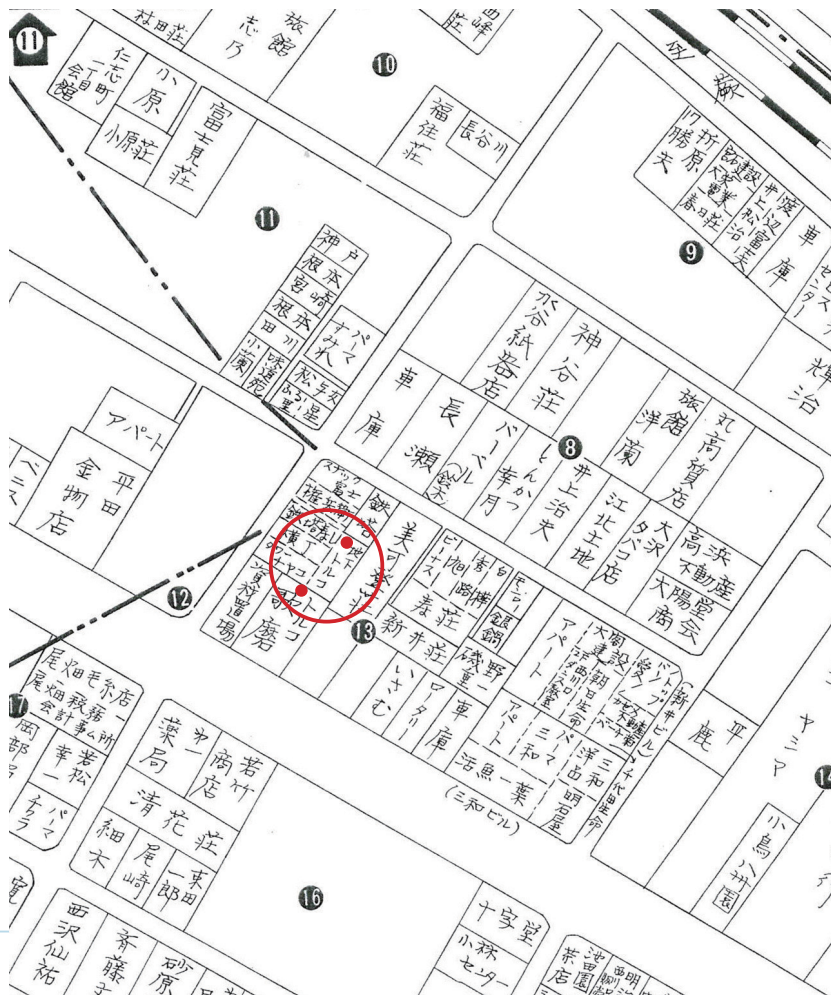


# 「鉄塔横町」が風俗街になった

西川口駅西口一丁目一〇番街区にかつて鉄塔があった。その足元に通称「鉄塔横町」と呼ばれた歓楽街が形成されていた。住宅地図でみると「鉄塔寿司」など飲食店があったことがわかる。



1970年 「鉄塔横町」周辺 住宅地図



鉄塔の横に  
「地下トルコ」  
「トルコ歌麻呂」が  
できている

西川口駅西口にあった鉄塔  
(西川口1丁目4番)

奥に鉄塔が見える。10番街区にも同様の塔  
があったと想定される。

[出典]

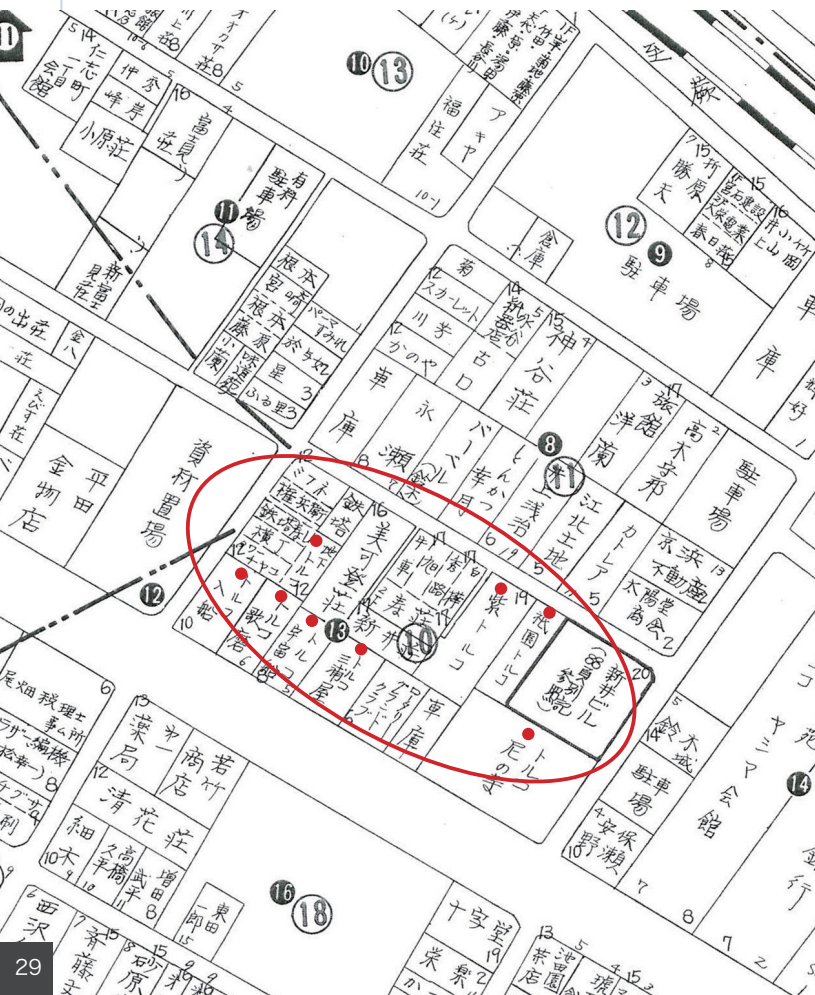
西川口駅開業 30 周年記念入場券  
(東京北鉄道管理局, 昭和 59 年 9 月 1 日)

一九七〇(昭和四五)年頃に、「地下トルコ」という店ができたことが住宅地図(右下)で初めて確認できる。その後の、四年後の一九七四(昭和四九)年の地図(左下)では、トルコは8件に急速に増えている。この時期に西川口の風俗街の原形が形成されていた。

一〇番街区以外にはトルコは広がらない。いわば特別な位置づけの街区になつていく。周辺には資材置き場、駐車場、アパートなどが見られる。

鉄塔、鉄塔横町とも現在は消滅している。

1974年 「鉄塔横町」周辺 住宅地図



「トルコ」が8件に  
急速に増えている



# 「コ・ラボ西川口」開設と現在の活動

…野口 琢生（早稲田大学）

2009年9月、我々が西川口西口に拠点を置いてから半年になる。

西川口で様々な方と関わる中でよく問われる疑問。「なぜ西川口」なのか。そうした疑問にお答えしつつ、コ・ラボ西川口の取り組みをご紹介します。

## 「川口」と「早稲田」の歴史

川口市と早稲田大学の関係は、昭和13年に設立された早稲田大学鑄物研究所（現・材料研究所）と川口市の地場産業である鑄物業界との人的交流と共同研究から始まっており、以後70年以上にわたって産官学の交流を続けてきた歴史がある。平成15年には「川口市との協働連携に関する協定」を締結し、現在では産業の活性化やまちづくり、文化の発展、人材育成などを相互連携して行っている。

「コ・ラボ西川口」もこうした川口市と早稲田大学の長い交流の中で、ここ西川口に開設することとなったのだ。

## 開設まで

2009年春に、西川口の地域再生に向けて議論を重ねている企業家グループからの誘致を受けた。

一般的に現在の「都市」の課題の有無は、物的・空間的に判断される事が多い。例えば、道路が狭くないか、街路区画が整備されているか、木造住宅が密集していないか、などが挙げられるだろう。しかし、この基準は必要な判断基準ではあるだろうが、万能ではないだろう。事実、西川口を見れば、いくつか課題はあるものの、周辺の地域と比べて悪いわけではないだろう。一方で、西川口駅西口が衰退してきているのもまた事実。ここで、この衰退を明らかにする新しい判断基準が必要である。

イギリスでは、70年代以降の不況により、中心市街地の衰退が問題となり、これまで様々な都市政策が実行されてきた。近年の都市政策では、相対的に衰退の著しい地区を特定し、その地区に集中して資金（税金）を投資する方法がとられているが、ここで判断基準となるのは複合的減退度指標（Index of Multiple Deprivation）である。この指標では、所得、雇用、健康・障害、教育・職業スキル、住宅や各種サービス、居住環境、犯罪の7つの観点から指標を組み合わせてスコアを作成し、地区ごとにランク付けを行っている。このスコアを基に、特に地域の状況の悪化している地区を特定して、投資を行っている。また、都市再生の取り組みとして、さまざまなアクターが連携して雇用対策

けて、研究・教育拠点を西川口駅西口に開設することが決まった。

以後、学生と地域の協働で室内のレイアウトの検討や家具の選定、拠点の名称の決定などを行っていった。地元の不動産会社をはじめ多くの方に支援していただきながら、家具の組み立てやペンキ塗装など学生ができることは学生自身で取り組み、2009年9月のオープンを迎えた。

## 現在の活動

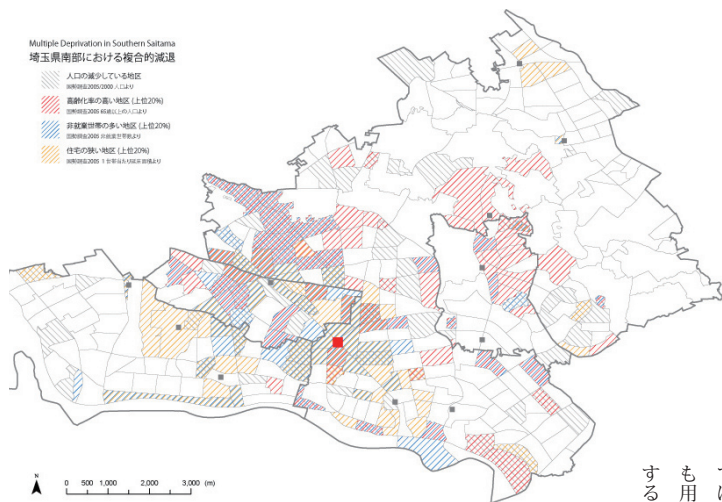
開設後は西川口の再生に向けて、中間支援組織として、次世代の新たな社会の仕組みづくりの支援を行ってきた。

ワールド・カフェ（集中討議）形式の議論をはじめ、広く地域に関わる方々と様々な議論を継続して行っている。またNPO法人学生キャリア支援ネットワークや川口青年会議所と連携して、「地元社長との交流会」を開催し、学生の教育や若者の自立支援なども行っている。

2009年冬からは「商店街と大学の連携による協働体制構築事業」として、商店街の方々と連携してイベント開催や誰にでもわかりやすいメニュー表づくりの作成、ブログ執筆などこれからの西川口の商店街の形を模索してきた。

や職業訓練、健康への取り組みなども行われている。

所得や雇用、教育、居住環境など数値化された各地区の社会的状況が都市の課題の判断基準に含まれているところが、日本にはないユニークな点であろう。



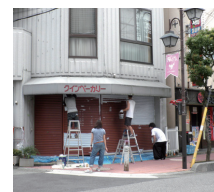
こうした海外の事例から、川口市を含む埼玉県南部でも、国勢調査データなどを用いて同様の分析を試みた。すると興味深い結果が出た。西川口駅から駅にかけて、より複合的に課題を抱えている地域が集中しているのだ。

もちろんこれだけが都市の課題の判断材料ではないだろう。ただし、こうした新しい基準も用いて、地域の課題を分析し、議論の材料とすることが重要であろうと思う。

上の図は、埼玉県南部の課題の多い地域を表したものの。イギリスにおける「複合的減退指標」をもとに、日本で入手可能なデータで代用して作成した。用いた指標は、「人口の減少した地域」、「高齢化の著しい地域（上位20%）」、「非就業世帯の多い地域（上位20%）」、「住宅の狭い地域（上位20%）」の4つ。図の真ん中の赤い点が西川口駅である。この指標では、西川口駅周辺から北の地域に特に色の濃いエリア（＝複合的減退度が他の地区よりも高い）が広がっていることが分かる。



地元社長との交流会



ペンキを塗る学生



商店街の会合



コ・ラボ西川口の開設記念式

このように、コ・ラボ西川口では、西川口の様々な方々と連携して取り組みつつ、中間支援組織として西川口の次世代の仕組みづくりを支援を行っており、これからも継続していく。

今後も学生やスタッフの地域に密着した研究活動にもよりいっそう力を入れて取り組み、その成果をより西川口のまちづくりに還元できるように努力していく。



コ・ラボ技術研究部（コ・ラボ技研）

情報化社会のまちづくりを

考える

コ・ラボ技術研究部は高度な情報化社会の中でいかに人々がそれらを適切に運用し、社会をより良くできるかという「マン—マシン—システム」のデザインを主眼におきながら、同時に情報化社会の中で生き抜くための各技術の習得を目指しています。

紙媒体、映像、WEB、といったメディアの垣根が低くなり、コンテンツがそれらの間を自由

また実務的な要素に加え、それらを駆使して情報化社会をデザインする研究開発にも力を入れていきます。地域データベースやWEB上議論空間の構築、情報技術を用いたコミュニケーションの促進によるまちづくりなど、各種プログラミング言語を習得しながら社会の中にいかに情報技術を位置づけるかということを考えています。市民を“やわらかく”つなぐツールとしてこれら技術をまちづくりに役立てることがコ・ラボ技研の夢なのです。

目下の研究課題は「西川口アーカイブ」という西川口の昔の写真や記述をデータベースとして蓄積し、共有することでまちのイメージ作りに役立てるシステムを構築することです。単なるヴァーチャル空間に限定された写真アーカイブではなく、それをいかに共有するかというリアルな仕組みや仕掛けまで視野に入れた研究を行います。

とで、「クロスメディア」という感覚を養い、情報化社会の中で積極的に価値を生み出してゆく技術力を磨いています。



まちづくり活動を映像で紹介。

石塚 高秋（早稲田大学）



## 協働のまちづくりを技術的に支える研究部会

[illegible][illegible]

**コ・ラボ西川口**  
〒332-0021  
埼玉県川口市西川口1丁目29-1  
ホームページ <http://www.colabnishikawaguchi.jp/>  
COPYRIGHT(C) SODA LAB. ALL RIGHTS RESERVED. 2010 -

[illegible]

□平成21年度商店街と大学の連携による協働体制構築事業

事業名：（西）京西町に所在する大学・短大会合NPO・協会の「ユニバーサル商店街」の構築  
 事業内容：連立商店街の活性化を図るための「ユニバーサル」の構築

＜事業概要＞

- ①誰でもメニューやすいメニュー表づくり
- ②ブログ「西」に読むための記事
- ③飲食会合メニュー一冊作り
- ④2月14日学生会祭1 お弁当ワークショップ
- ⑤2月20/21日学生会祭2 風呂キッチン
- ⑥コラボ企画
- ⑦3月7日学生会祭3「かわりくみ入れ方」の開催
- ⑧利用客へのユニバーサルメニューの配布
- ⑨ワールド・カフェ（集中時間）の開催
- ⑩まちづくり祭の参加協力

**イベント告知**  
 ◎2月21/22日：鎌倉キッチン試食会  
 鎌倉新聞読者の皆様へお誘い合わせを致しまして、全国の新聞社の試食会にもお誘い合わせを致しまして、全国的に広がる新聞の試食会に、ぜひご参加ください。参加費と送料は、こちらよりご負担をお願いいたします。

◎3月7日：からくりカフェ  
 毎月1回、からくり人形館のからくり人形をテーマに、お誘い合わせを致しまして、全国的に広がる新聞の試食会に、ぜひご参加ください。参加費と送料は、こちらよりご負担をお願いいたします。

**第二回ワールド・カフェ（集中討論）を開催しました**  
 2月18日（月）から2月19日（火）の2日間、からくり人形館のからくり人形をテーマに、お誘い合わせを致しまして、全国的に広がる新聞の試食会に、ぜひご参加ください。参加費と送料は、こちらよりご負担をお願いいたします。

今週末のワールド・カフェ、お誘い合わせを致しまして、全国的に広がる新聞の試食会に、ぜひご参加ください。参加費と送料は、こちらよりご負担をお願いいたします。



# 試食イベント 離島キッチン

「一見なんの関係もない離島と西川口が、この機会につながる。不思議な感覚だ。」

2月21・22日の二日間、コラボ西川口で行われた離島キッチンの試食イベントは老若男女、多くの方々に賑わった。口にはおぼろと磯の香りが広がるサザエの壺焼、とびきり新鮮な寒シマメ（スルメイカ）の漬け丼、頭まで丸々一匹使った天然穴子丼など、離島の幸を存分に使ったメニューはどれも大好評であった。「離島」という新しいコンセプトを郊外と結びつける今回の試みは、主催者だけでなく参加者にとっても新しい予感と十分な手ごたえを感じさせるものだった。アンケートでは実に96%の人が常設店舗の設置に肯定的である。

意外と思われるかもしれないが、実は離島と郊外は似ている。それは「周辺に位置している」という点で、メインストリームから外れた価値が流れていき、その地独特の文化と結びついて新しい価値を生み出す可能性を有していることだ。これは日本のお家芸でもある。日本はまさにユーラシア大陸の「周縁」に位置し、シルクロードを通して



**離島キッチン**

試食イベント

<http://mtokitchen.com/>

商店街と大学の連携による地域創生事業

**西川口に、美味しい『離島』がやってきます。**

Good Taste From Island To Nishi-kawaguchi

ごあいさつ

「離島の風味を「楽しく、美味しく」」

離島キッチンは、島根県松江市を拠点とする全国の離島の美味しいものを紹介する移動販売車です。部会のおおきく「離島の味」を伝える一環でも最良な食材の恵みと時間をのんびりと楽しんでほしいと思い、2009年10月23日スタートしました。

私たちが運営するメニューは、すべて生産者と直接つながりをもった安心かつ安全なものを提供し、部会に伝えている。離島もつ「新鮮な味」をぜひ心から楽しんでください。

離島に興味を持った方は、是非とも一度足を運んでみてください。暑い夏、心の癒し、自然との共生など「食」だけでは伝えない離島の魅力や存続の理由をぜひお話しください。私たちの活動に興味を持っていただけた方と一緒に、この輪を広げていけたらと考えています。

**離島セット 1,000円**

4つの皿 + 飲み物

さざえカレー (島根県松江市)

寒シマメ漬け丼 (島根県松江市)

奄美鶏飯 (鹿児島県)

天然あなご丼 (兵庫県)

100セット限定売り切り特価

※事前にお申し込みいただいた方には、売り切れの場合、事務局からご連絡いたします。

**2/21日 22日**

11:30-14:00

場所: **コ・ラボ西川口**

(川口市西川口1-29-1)

<http://www.colabonishikawaguchi.jp/>

【主催】西川口ユニバーサル商店街実行委員会 + コ・ラボ西川口 (早稲田大学) + 海士町観光協会

【協力】西川口まちづくり合同会社

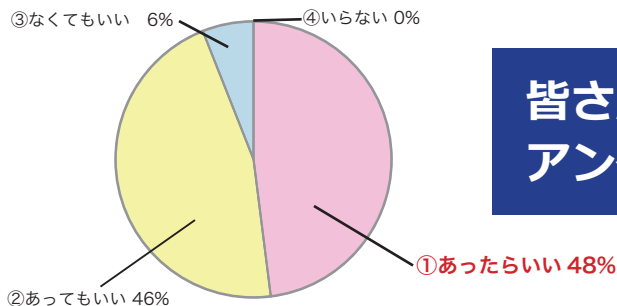
て漂着してくる様々な文化をうまく吸収し、独特に発展させてきた、そういう遺伝子がある。今回のイベントはそんな周辺同士がつながることで積極的に新しい価値を生み出していこうというものであった。冒頭の参加者のコメントはそんな新しい可能性を敏感に感じとり、「不思議な感覚」という言葉でこの親類性を表現しているのではないだろうか。

これからの時代は都市が縮小していくといわれている。それは何も手を打たなければ郊外が孤立して取り残されることを意味している。そうならないために、様々な価値をつなぎ、つむぎ、生き残りに向けた新しい価値創出を行っていくことが必要なのではないだろうか。離島キッチンのイベントはその第一歩として郊外の新たな道筋を示してくれたといっている。

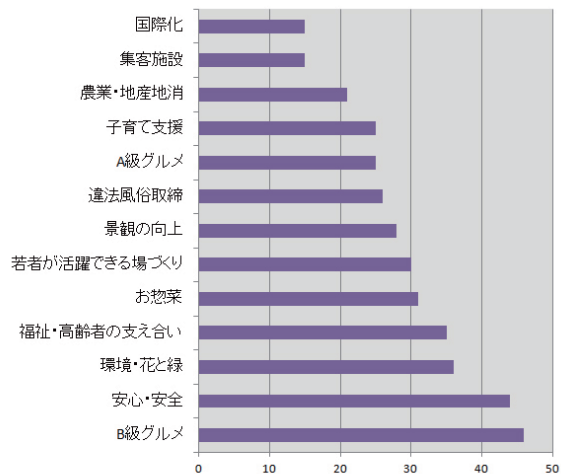


- アンケート日時：2010年2月20日(日)、21日(月)
- 方法：直接記入、直接回収
- 回答者数：72人 (20日：32人、21日：40人)

## 皆さんの感想 アンケート分析より



## 今後、西川口に特に必要な取り組みはなんでしょう？



離島の味を楽しめる「常設店舗」が西川口にあったらいいと思いますか？

西川口に必要なのは何かという問いに対し、一番多かった解答は「B級グルメ」であり、続いて「安心・安全」や「花と緑」が挙げられた。地元の人々は、かつての風俗のイメージから脱却する方向性を望んでいることが分かる。また福祉や若者が活躍できる場づくりなど、時代を反映した意見も多かった。

逆にパチンコや遊技場などの集客施設には関心が薄く、お惣菜といった生活する上で便利な居住者重視の施設が望まれているようだ。



# 川口横曽根で伝わる江戸からくり人形 「からくり人形カフェ」という劇場空間

## 川口で伝わるからくり人形

三月七日のからくり人形カフェは、日本で三人しかいないからくり人形師の半屋春光（からくり人形工房スタジオぎえもん）さんの協力を得て、コ・ラボ西川口で「からくり人形芝居小屋」の復元に挑んだ。

江戸時代にゼンマイ仕掛けの機械時計が中国・欧州から輸入され、その技術に応用したからくり人形がつけられた。からくり人形は大名の座敷遊具のみならず、からくり人形芝居として発展した。

『摂津名所図会』では、一六六二（寛文二）年、竹田近江が道頓堀で創設し人気を博した「竹田からくり」を描いている。高座は広く、舞台上には笛、太鼓、謡が見える。

能の「船弁慶」を演じている。竹田からくりは水芸を得意としたという。遠く長崎出島のオランダ商館長が出向き、優雅に膳を据え葡萄酒を飲みながら観劇している。

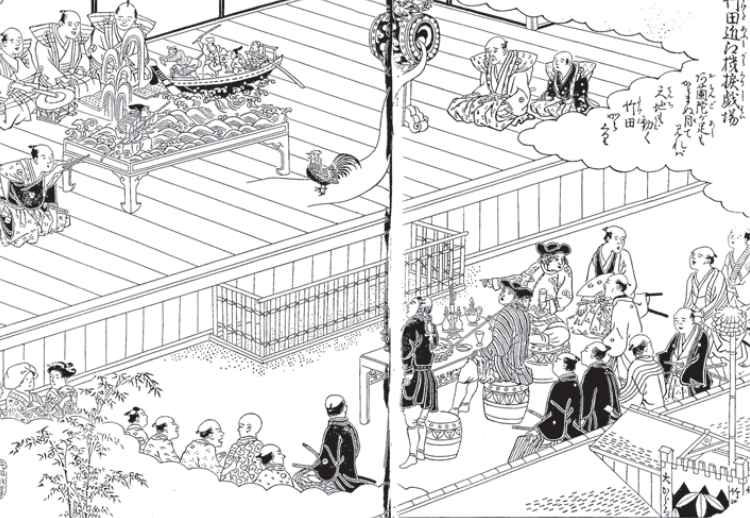
## 人形とお茶で大名気分

企画をネットで知り遠くから来た人や川口市アトリアの職員も参加した。愛らしい人形の動きの後、からくりの原理を解説する「解き明かし」に感嘆の声がもれた。

参加者は、ゆり香味最中（西川風月堂／西川口）、キューポラ

最中（村田屋／西川口）とお茶をいただきながら優雅な江戸文化を楽しんだ。

半屋さんは、ものづくりのまち川口飯塚に住んでいる。全国から招かれてワークショップに出かけ、子供たちに日本の伝統文化、技術の素晴らしさ、ものづくりの楽しさを伝えている。半屋さんの夢は「からくり芝居小屋」を現代に復元すること。グロバルな西川口で江戸文化に触れる常設の劇場への夢が広がる。



摂津名所図会

からくり芝居小屋。オランダ人が優雅に膳を据え葡萄酒を飲みながら観劇している。



からくり人形芝居

琴の音色とともに始まる。設定は太閤秀吉と千利休がからくり人形で遊ぶ情景を再現した。

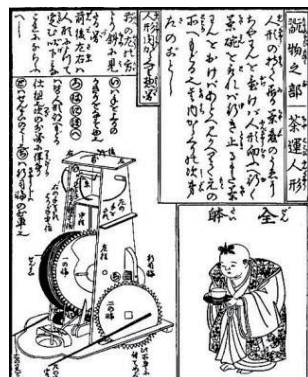


様々なからくり人形たち

どれも芸術品であるとともに技術の粋を集めている。



解き明かし  
からくりの原理をわかりやすく語る



機巧図彙（きこうずい）

細川頼直著

一七九六（寛政八）年

半屋さんは、この書をもとに復元している。



## からくり人形工房 スタジオぎえもん カフェ

川口に伝わる  
日本の緻密な技と  
繊細な感性



### 茶菓子つき

国内産小豆の  
粒あんです。  
川口市西川口  
1-2-9  
048-432-8146  
営業 11:30-20:00



西川口まんじゅう

コ・ラボ西川口は商店街・金栄・市民センター・早稲田大学・行徳の協賛のもとでこの社会実験施設です。



3月7日開催からくりカフェのチラシ

からくり人形師  
半屋 春光 はんやへはるみつ

経歴  
1942年 群馬県安中市生まれ  
1972年 通産省工業技術院選官  
1975年 からくり人形工房を設立  
現在、スタジオぎえもん、地主亭、江戸からくり人形の復元制作  
及び創作人形の制作に取り組む。  
（財）日本設計工学会会員  
日本メカニクスアーツ研究会会員

工房アドレス：川口市飯塚3-13-20 電話：048-257-5627  
http://www.karakuri-art.com/index2.html

半屋 春光

〈インタビュー〉早田研究室



学生が選んだ西川口のこの店

## 花好園 (かこうえん)

川口市西川口 1-19-14 西川口駅西口徒歩 2 分  
電話 048-253-4287 FAX 048-256-9587  
<http://kakouen.jp/>  
[fs-kakouen@vanilla.ocn.ne.jp](mailto:fs-kakouen@vanilla.ocn.ne.jp)

本場ヨーロッパスタイルの  
オーダーメイドアレンジメントのお店

### KAKOUEEN フラワーデザイナー

花の博覧会コンテスト 2010 入賞

山本 宏子 YAMAMOTO, Hiroko

川口市生まれ/本場ヨーロッパで研修、オランダに於いて '96 年、'98 年 ウィム・ハゼラー氏に師事、フィンランド 2001 年 ヨウニ・セツパネン氏に師事/フラワーデザインディプロマ取得/東京カップ 第 2 回 (1993) アレンジの部 1 位 都知事賞受賞/東京カップ 第 7 回 (1998) テーブルアレンジの部 1 位 都知事賞受賞/

山本 宗省 YAMAMOTO, Hiroyoshi

花キュービット南関東ブロック大会出場多数/花キュービット埼玉支部 web コンテスト 2010 優勝/平成 21 年度関東東海花の展覧会アレンジ部門銅賞/高島平板橋市場第 1 回板橋カップ入賞

埼玉の花を使ったヨーロッパアン・スタイルの  
アレンジメントを模索中。



花キュービット埼玉支部 web コンテスト  
2010 優勝作品「グランプルー ローズ」

こんな花屋さん  
欲しかった!

西川口に店舗を構えて 40 年の生花店「花好園 (かこうえん)」。

胡蝶蘭などお祝いの品を中心に花束、観葉植物など幅広く取り扱う。本場ヨーロッパで研修をつんだ従業員をはじめ、日本で数々の賞を受賞した経歴を持つ実力派のお店だ。二代目の宗省 (ひろよし)

さんは花キュービット埼玉支部が主催する「ホワイトデーフラワーギフト WEB コンテスト」で今年 1 位を獲得した。

ふだん口に出せない言葉や  
気持ちを花と一緒に

「お花は生活する上で必ずしも必要ではないが、だからこそ気持ちを表わしてくれる。」そう語る宗省さんは若い頃、服飾や映画製作を志したり、または広告取付け作業で縄ばしごで 10 階立ての屋上からぶら下がっていたりした。その後、花の道を志し接客・活けこみ・配達業務をしながら修行。「花に心を託す」をモットーに、お客様の気持ち最優先の接客を重視している。

お店ではフラワーアレンジメントの写真を使ったカレンダーも作成しており、年間をとおして季節ごとに花の演出を楽しんでもらいたいという心意気がうかがえる。お花を通して気持ちを伝えたいときには是非利用したいお店だ。

- ・全国どこへでもお花が贈れます (花キュービット加盟店)
- ・新鮮な生花はもちろん、ギフト用洋蘭鉢、観葉植物、各種取り揃えてあります。
- ・贈る方と贈られる方の立場になって個性的に、デザイン、アレンジ、ラッピングしてくれます。

チェンジメーカー

新しい西川口ライフスタイルの  
達人たち

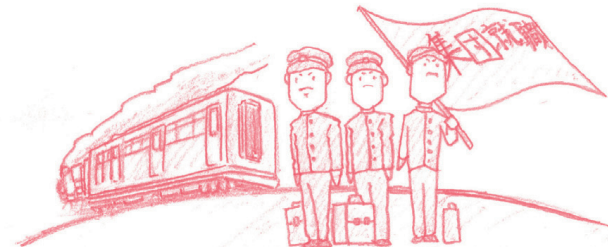




埼玉県川口市。

「キューポラのまち」といわれた産業のまち。  
かつて、たくさんの若者が鋳物工場へ集団就職した。

①



橋本は川口駅のデッキに  
立っていた。  
「ここならきっと自分の思い  
描いた仕事ができる。」

②

時は平成。橋本光生は、キャリアコンサルタント。

「若者に働く夢と自信を与えたい。」  
NPO学生キャリア支援ネットワークで動きはじめた。



モットーは、  
「人づくり、  
まちづくり」

③

橋本には大きな夢があった。  
施設だけでの支援では限界がある。  
「まちの中に若者の受け皿をつくろう」、  
「施設とまちをつなぎ、安心して  
働ける社会にしたい！」



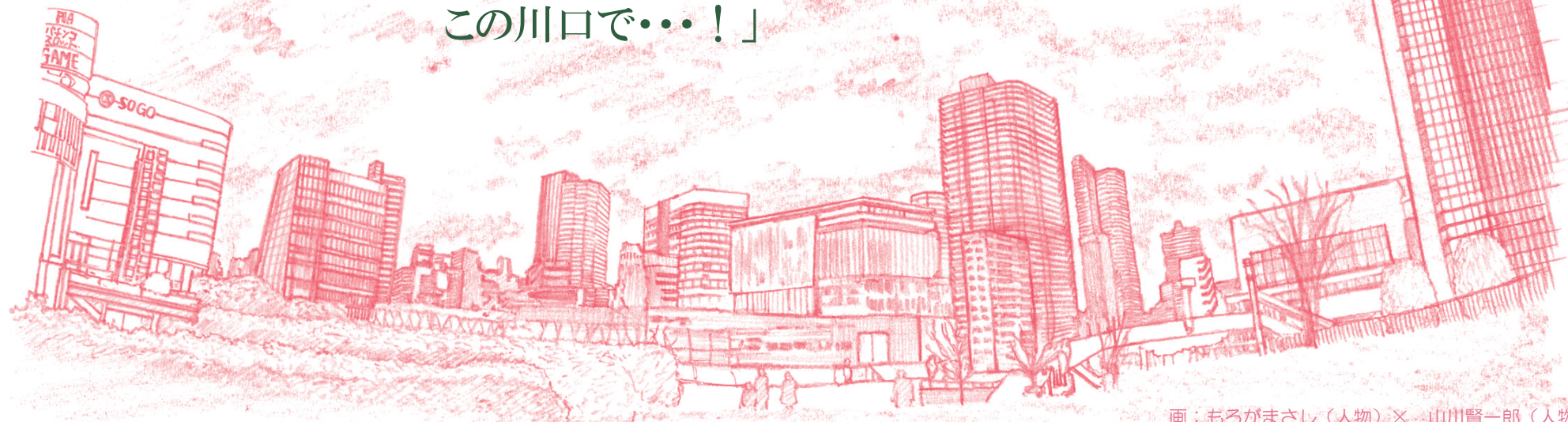
④



しかし、  
「どこから社会を変えていけばいいのか。  
職場、家庭、地域、行政・・・その「協働」か。  
橋本は様々な人に会い、理解者を増やしていった。

そのネットワークは、埼玉県、川口市、川口青  
年会議所、(株)アライの新井俊雄(3,4話)、  
早稲田大学の早田宰(4話)、中小企業診断士の  
木村裕美(7話)、ひだまりの山田たみ子(7  
話)らに広がっていった。

チャ・レ・ン・ジ  
新しい「次世代人材育成のまち」をつくろう。  
この川口で・・・！」



画：もろがまさし（人物）× 山川賢一郎（人物・風景）



⑤ 環境浄化には大きな成果をあげたが、皮肉にも、あとには地元**経済の大きなダメージ**が残った。

そこで、上田清司埼玉県知事が

平成19年6月埼玉県議会で、  
奥ノ木信夫議員の質問に答弁した。

埼玉中の人気のある飲食店の支店、  
焼き鳥、うどん、フライ、地ビールを  
全部西川口に呼んだら！



## ⑥ 西川口駅西口を 「関東の食い倒れのまち」に！



かくして、**B級グルメのまちづくり**がスタート。

新名物「キューボラ定食（鉄骨いなり+雷すいとん）」が考案された。2009年11月29日、「川口B級グルメ大会」が西川口で開催された。1位「わらび餅」（そばの澤）。2位「おそばやさんのハヤシライス」（二幸・4話⑤、5話⑤）、3位、「煎人餃子」（異味香・5話①）が舞台に登場してくる。



② そこへ、  
2001年9月11日。  
**同時多発テロ攻撃**  
が勃発。



テロに対し、世界が  
毅然とした態度で臨む！

ブッシュ大統領

① 2000年以後、  
性風俗店の  
**強引な客引き。**

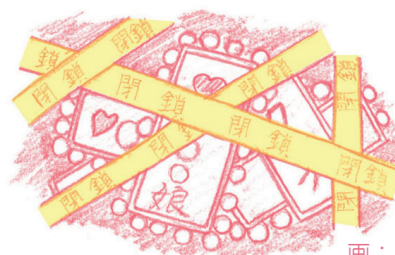


③ 小泉政権は、2003年（平成15年）、  
犯罪対策閣僚会議を設置。  
**「日本を世界一安全な国に！」**  
と宣言。歓楽街対策が始動。



警視庁+埼玉県警

④ 西川口の違法性風俗店  
は一斉に**バイバイ**。



画：もろがまさし（人物）× 山川賢一郎（人物・風景）



④

ちやい九炉とは、Child Clock=子供時計・時間のこと。子供の時に感じた様々な想いを大切に、皆と共感して楽しい時間を提供し全ての人をHAPPYにする、というコンセプトの居酒屋である。

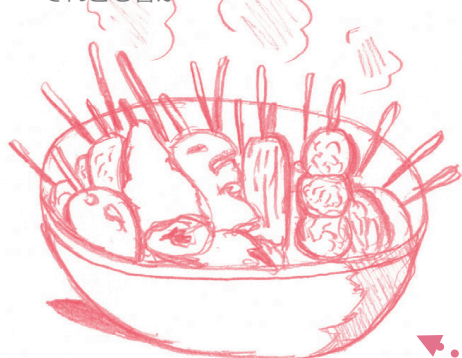


西川口店長の鈴木彰生

西川口を変えていく先鋒になろうと**チャレンジ**している。

⑤

今日も、やわらかく煮られているのは、おでんか、それとも客か・・・



それとも西川口のまちか・・・

BCG  
critters



9つの想いをキャラクターにした  
夢・アイデア・感動・個性・友情・愛・勇気・希望・正義

9人のメンバーの9社をつくり、  
それぞれが経営者として育つ  
ことを目標としている。



①

2009年、空き店舗で7つの**チャレンジ店舗**を募集した。地域の不動産業や関係者は店舗誘致に走り出した。

川口商工会議所と埼玉県は、家賃の4/5（上限月額16万円）、改修費用の2/3（上限100万円）を補助を条件に公募、新規出店を促進した。

②

厳しい審査を条件に、7店舗が出そろった。

焼鳥、中華、串もの、たいやき、やきとん、ぼったろ※である。

※もんじゃ焼のとりみを増した川口の昔なつかしい味。



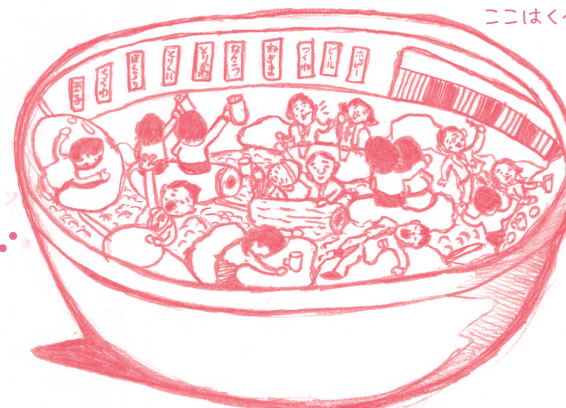
③

「串もん酒場 ちやい九炉 西川口店」

BCG社長の中道英治は、再生会議のメンバー、新井俊雄（4話①）の声掛けで出店を決意した。

「串」で食べ、飲む店。店は遊び心で一杯。今まで当地になかったファッショナブルでアットホームな雰囲気、新しい可能性を感じる人が集まってきた。

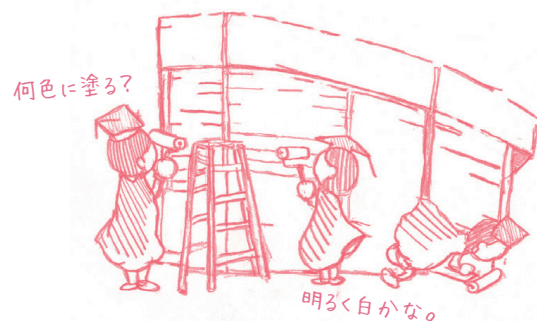
ハヤ〜、  
ここはくろげるニャ〜



画：もろがまさし（人物）× 山川賢一郎（人物・風景）



- ④ 場所は、元パン屋さんだった空き店舗に決まった。  
シャッターのペンキも学生たちが塗った。  
内装も学生、地元、専門家といっしょに考えた。



拠点の名称は—

『コ・ラボ西川口』。

33㎡の小さな施設。  
フリースペースとして貸し出し  
もしている。

- ⑤ 2009年9月、開設。

岡村幸四郎市長ら行政関係者が数多く出席。  
二幸（2話⑥、3話⑤、5話⑤）の小久保  
亮治は、引越しそばを打った。

## 西川口元気に、まちづくり拠点 始動！



大学は行政と地域の間隔的な立場からまちづくり研究、人材育成、社会貢献（まちづくり支援）を行っていく。ここを拠点に、大学、地域住民、企業、行政の新しい協働のまちづくりが展開してゆく。

画：もろがまさし（人物）× 山川賢一郎（人物・風景）

- ① 地元の企業家、新井俊雄（1話④）は悩んでいた。  
「西川口の灯が消えていく」。

再生の想いのある**多様なチャレンジャー**が集まり、  
「共に学び、共に育つ」まちづくりの場が必要だ。

新井俊雄は、小野田健治ら地域の  
経営者と、自主的な勉強会「経営  
者フォーラム」を立ち上げた。



新井俊雄

- ② そうだ、**大学にきてもらおう。**



大隈重信

東京オリンピック聖火台

（川口鋳物職人・鈴木文吾1958年作成）

早大と川口市の関係は深い。昭和13年  
に設立された早稲田大学鋳物研究所  
（現・材料研究所）と川口市の鋳物業  
界は人的交流・共同研究をしていた。  
昭和41年に策定された「川口市総合開  
発計画」から、早大の学識者が参加し  
提言を行ってきた。2003年、早稲田  
大学川口芸術学校が開講、映像クリエ  
イターの育成を行っている。2003年、  
川口市と早稲田大学は協働の包括協定  
を結んでいる。

- ③

まちづくりを研究している都市居住環境論  
そうだおさむ  
早田宰教授（1話④）と相談し、まず  
**早稲田大学の研究室分室**を設置し、  
そこから他大学に広げることにした。





- ③ 学生たちはその体験を、**ブログ「西川口見てある記」**に書きつづっていった。



- ④ 中国・韓国からの留学生たちも一役買った。  
レストランの店の**わかりやすいメニュー表づくり**の活動である。  
川口にはたくさんの外国人が住んでいる。言葉は英語・中国語・韓国語に翻訳する。イチオシの1品は大きな写真に。  
**誰でも、おいしいものを食べられる**、ようにと。



※3話②



二幸の小久保亮治(2話⑥、3話⑤)は、学生の姿勢をずっと見ていた。  
「大学と連携して何かできるかもしれない」と思い、山田慶忠、岡田静夫(7話)らと**ユニバーサル商店街実行委員会**を立ち上げた。

画：もろがまさし(人物)× 山川賢一郎(人物・風景)

- ① 早稲田大学分室「コ・ラボ西川口」(4話④)では、学生たちが日夜活動していた。

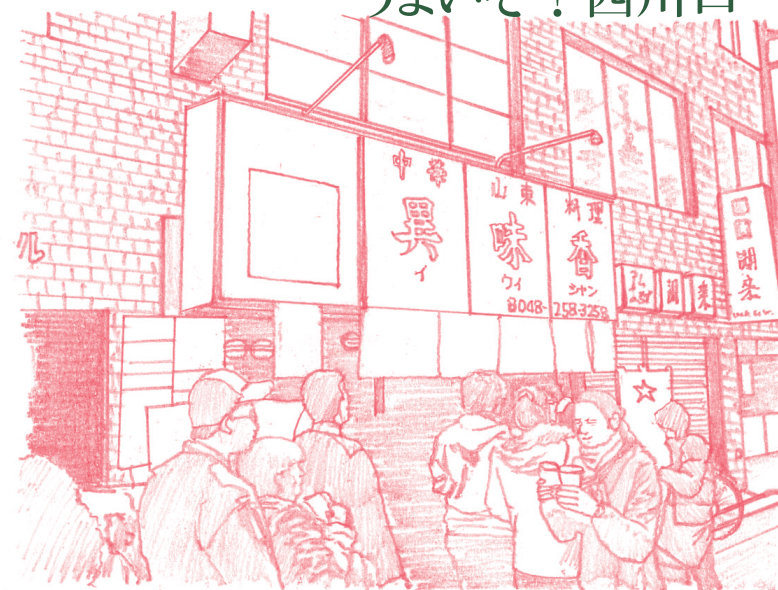
「皆さん、遅くまでやっているネ！  
ハイ、これ食べてヨ。」

隣のパレスチナ料理グリーンガラスの店主イヤッドマンズールが、ケバブサンドをもってきた。

ビンボー学生に**異国のスパイスの味**が沁みた。

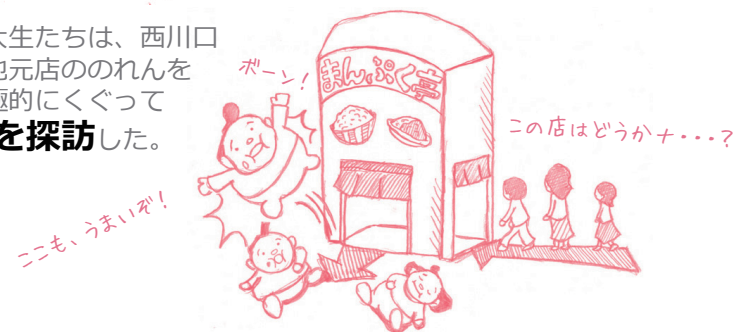


## うまいぞ！西川口



異味香 [中華・山東料理]

- ② 早大生たちは、西川口の地元店ののれんを積極的にくぐって**食を探訪**した。





- ④ 奥富の話しのナカミは濃かった。  
テーマは、仕事の「コミュニケーション」だった。

- ◆ “言ったか言わないかの話はしないこと。伝わったか伝わらないかだ。”
- ◆ “リーダーシップとは、人にちゃんと伝えること、そして人の話をちゃんと聞く事で、人や組織をつくっていくことだ。”
- ◆ “すべて試行錯誤。でも、話し合っていくことで、暗闇の中で一筋の光が見えてくる。”
- ◆ “給料の少なくなる人の特徴。『では、どうする』の話ができない人。”
- ◆ “仕事で失敗したとき、何が原因かを考えるより、これから即座に何をすべきかが大事だ。”

“ハッ”、  
学生たちの目の奥が光った。



終わったあと、お酒も交えて楽しい語らいの会となった。

「自分自身を信じて歩みだせることが大切なんです」（学生）

「でもチャレンジは、奥富さんのように家族や社員、青年会議所の人々など」

多くの人が周りにいて初めて可能なんだよ」と橋本。

「橋本さん、川口に元気な若者を増やしましょう！私に出来ることがあればお手伝いします！」と奥富。

居酒屋を出ると、橋本は一同にいった。

「皆さん、今日はありがとう。今日が若者が希望の持てる日本への一歩です！」

画：もろがまさし（人物）× 山川賢一郎（人物・風景）

- ① 橋本光生（1話②）は、今日も若者の「受け皿」づくりに苦心していた。

「まちは簡単には変わらない。だからこそキャリアコンサルタントがまちに出て、説得し、地域の中に若者の「受け皿」をまちといっしょにつくるんだ。」



橋本光生

- ② まちは、シューカツで失敗する若者があふれていた。



私のどこがダメなの？

「働くとは何か、社会で求められるスキルとは何か、心の準備をする機会を就職活動に入る前に、早めにつくってあげたい」、同時に、「深刻な中小企業の人材不足が解決できないか。」2つの願いが橋本にあった。

- ③ 橋本は2010年2月、地元社長との交流会をコ・ラボ西川口（4話）で、はじめた。

最初の講師は、電気設備工事会社の若い社長の奥富精一。社団法人川口青年会議所（JC）第46代理事長である。

暗かった一同は、奥富の120%の元気さに、圧倒された。



奥富精一  
（株）奥富電気工事  
代表取締役





④ 早大生の橘麻由が「ひだまり」に**お弁当ワークショップ**を提案した。

「山田さん、協力していただけますか？」  
「コスモスさんとのコラボで。」

ユニバーサル商店街実行委員会（5話⑤）の  
チャレンジ企画である。

「もちろん、  
いいですよ。喜んで」

山田たみ子

学生さんの提案に  
NPOと企業も  
のってみましょう

⑤

学生と川口や埼玉の食材を堀おこし、NPO・企業と新メニューを考えた。

川口・源左衛門新田のトマト

川口・安行の筆しょうが

彩の国の黒豚

けっこう、いろいろあるネー

地域の資源を、  
掘り起こせ！

⑥ 試作の**地域の声を活かしたご当地弁当**ができた！  
新メニュー「黒豚のオレンジソース」！



ほどなく、木村裕美  
（1話④）のアドバイ  
スで地域資源活用研究  
会が発足していく。

地域の  
知恵とカネ！

「自分が持ち込んだフルーツ素  
材を活かしたジャムを小ロット  
20個からつくってくれる方が  
いるんですよ。川口に。」  
山田はそのジャムを切り札に  
使ったのである。

岡田静夫の目がきらりと光った。  
「うちでも、もう少し考えてみ  
ます。」  
地域密着型コンビニ店長の新た  
なチャレンジがはじまった。

① コスモスの**お弁当、安くて美味しい**ね、これで290円？  
びっくり」

コスモス西川  
口店は地域密  
着型のコンビ  
ニである。自  
前の厨房での  
つくりたての  
お弁当がウリ  
である。



↑岡田ネコ

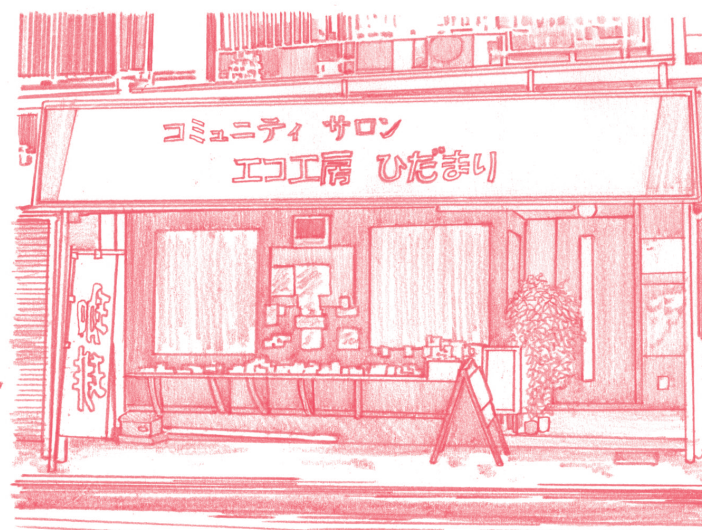
② 店長の岡田静夫（5話⑤）は、消費者、住民に  
喜んでもらえる店づくりをいつも考えていた。  
「チャレンジしていかないと。」

今日は「ひだまり」に  
いってみよう



実は  
岡田静夫

③ 「ひだまり」は西川口にある**コミュニティ・サロン**。  
川口の志のある人をつなぎ、商品の委託販売も。NPO団体  
志民アシストネットワークの山田たみ子らが運営していた。



コミュニティサロン エコ工房ひだまり

画：もろがまさし（人物）× 山川賢一郎（人物・風景）



# まちはみんなでつくるもの

—新しい2010年へ—

橋 麻由（早稲田大学大学院）

## 繁華街から風俗街へ

2000年代に入るまで、西川口は、歓楽街・繁華街として栄え、駅の東口側のオートレース産業と共に、賑わいを見せていました。しかし、時代は徐々に移ろいを見せ、鋳物でにぎわった川口全体も産業構造が変わり、工場は少しずつ減ってゆき、工場の跡地にはマンションが立つ住宅地に変わっていきます。

風俗街はまちの一角にあり、その一部でした。多い時には200軒を数えたという風俗街の西川口がという構図が生まれ、全国ネームにまで広がってしまいました。風俗街に特化した西川口は、眠らないまちとしてたくさんの人が集まり賑わいもしましたが、同時に犯罪も増加しその治安の悪さは、地域住民にとっても深刻なものとなりました。

## グローバル化の波と西川口

～まちに安全を取り戻せ～

並行して、グローバル化の影響は西川口にも訪れます。外国人の居住者、とりわけアジア系の住人がだんだんと増加してきます。

2001年、アメリカで歴史的な同時多発テ

## ●活動の進展と、大きなうねりに向けて

このような活動が進む中、今一度、地域全体について活動を見直す動きも出てきました。

そもそも、風俗産業がなくなつたのち、代わりとなる新たなまちの魅力についての産業の代替案を全く用意せずに、先んじて摘発を行ったことでまちが自力で元氣を取り戻すことができませんでした。しかし、西川口を思う地元の実業者や商店、住民にれば、そのまま何もしないで手をこまねいていればかつてのように違法性風俗店街が復活し、以前のように治安が悪化することはなんとしても避けたいところでした。そのためには、一刻も早く新しいコンセプトの地域に生まれ変わる必要がありますが、事業を模索しながら進めていくことになりました。

実のところ、西川口はこれまでまちをどうするかという方向性について、じっくり話し合いの機会を持つ余裕が、これまであまり持ていませんでした。本当に地域が再生するための活動や必要なことは一体何なのか、もう一度考えるために、連携によるまちづくりへの働きかけが徐々に始まっています。

そのひとつとして、地元の有志団体が、早稲田大学の都市居住環境研究室の誘致し、まちづくり拠点『コ・ラボ西川口』が、オープンしました。地域には、町会、商店会、経営者グループ、NPO、川口青年会議所などの主体的なまちづくりの取り

口事件が起きました。国際的にもテロ対策の為の動きが活発化し、東京都でもテロ、治安の面での対策が準備されることとなります。国のテロ対策をはじめとする防犯対策の動きは進み、都市再生や安全安心のまちづくりの動きとも足並みをそろえて行われることが決まります。2006年の風俗営業に関する法律の改正、川口市の防犯条例制定ののち、ついに埼玉県警によって、西川口の違法風俗の一斉摘発が徹底的に行われることとなります。また、これを機にまちの安全を取り戻すために地元が立ち上がり、住民のパトロールによる治安維持と浄化作戦が行われました。

## 元氣で生き生きした まちのために

～新しいまちづくりへの転換～

### ●再生活動初期

違法風俗の摘発を受けて、まちは落ち着きを取り戻すと思われていました。しかし、200軒近くあった風俗店が摘発により一気に空き店舗、空きフロアとなったことで、地域は一転、まちは賑わいを無くしてしまいました。地域からは、「まちから明かりが消えた」と、強い危機感が上がり、

組みがあります。これから、中間支援組織として、研究、教育、社会貢献を通じて、地域主体のまちづくりを支援してゆきます。このブックレットを作成している地元商店と早稲田大学の連携によるユニバーサル商店会実行委員会もそのひとつです。

### ●西川口、今まさに必要とされている！！

川口市は、もともとボランティア支援に積極的な地域ですが、西川口ではまちづくりに関連するようなそれぞれの団体は各々バラバラに活動しており、未だ大きなムーブメントにはつながっていません。西川口は転換期に直面しています。

なんとかしなければと、商工会議所「西川口・並木ブロック」の会員を中心に、西川口再生部会が結成され、活動を行うことになりました。初期の主な、事業内容は、県議会での知事のアイデアを採用し、「食い倒れのまち、西川口」を中心に、  
・ B級グルメのまちでのまちおこし、  
・ 空き店舗対策のためのシェレンジ店舗  
・ 早稲田大学やキャリア支援の団体との連携の上人材育成講座の開催  
・ 県のB級グルメ王決定戦大会を西川口に誘致するとともに、地域オリジナルメニューのキューボラ定食を開発し、地域おこしにつなげていく。

というものでした。この活動は、平成20年より、国の元氣再生事業の採択を受けることになり、再生部会は西川口再生会議と組織を改め、拠点・街づくりステーションを設置して活動を行った。  
また、再生会議の活動に加え、地元の若者によるクリーン活動、住民のパトロールなど地域全体で再生に対する機運がより高まり、NPOが結成される等、相乗効果で様々な活動が生まれしました。

西川口地域には、いろんな立場を持つそれぞれのセクターの動きや考えが複雑に存在し、一言で「地域」と言っても、人々の所属や考え方、価値観は実にさまざまです。

これから、西川口の地域再生を実現し、まちが元氣になるためには、「こんなまちにしたい」というまちの将来像をまとめることが必要です。地域全体の連携とルールづくり、そして合意形成の場をつくるのが急務であり、よりダイナミックな連携のための横断的な体制が期待されています。





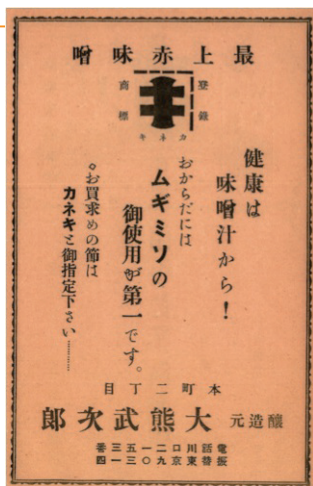
# 西川口まちづくりへの期待

## 「やってみなはれ。」

私が西川口の再生に関わりを持つようになったから、早三年近く立とうとしています。なぜ、ここまで深く関わるようになったのか私なりに考えてみても色々な要因があります。一番は、自分達の街を自分達の力で何とかしたいという想いからです。

仲間からは、難しい街だから無理だからやめておいた方が良くとか、地域の事より自分や会社の事を心配したほうが良くとか、等々色々な事を云われている事も承知しています。

しかし、私が所属している「社長の学校」の埼玉中小企業家同友会では「良い会社・良い経営者・良い経営環境」を作ろうという三つの目的と「共に育つ」という理念で新入社員を採用「共同求人」や「社員教育」などの活動をしています。特に昨今、今までの市場原理主義のいき過ぎもあり、優勝劣敗があらゆる地域や業種企業での格差が広がりその影響が大きな社会問題になっています。その中で、地元企業家として西川口の灯が消えていくのを黙っているわけにはいかず、「やってみなはれ（サントリーの創業精神）」という強い挑戦意識と使命感を持って取り組んでいます。



かつて川口には醤油・味噌・酒屋がたくさんあった

和の戦後まで大変盛んで、ピーク時には全国の味噌生産量では4位の実績があり、製造元も7、8社もあったほどです。とくに麦味噌に特色がありました。その背景には、当時、周辺で原料である麦が沢山収穫され且つ消費地である江戸、東京に近く水運や陸路でも至近距離にあったという事があるようです。

最盛期には「旧田中家住宅」に名残りを伝える「田中徳兵衛商店」、横山大観など美術品を県に寄贈した東一味噌の「大熊家」元郷のもいち味噌の「池田家」やカイチ味噌の「片野家」などがありました。私の先代は田中徳兵衛商店より独立し、昭和二八年に味噌卸業として川口末広で創業いたしました。

現在西川口を目を向けると日本人だけでなく多くの中国、韓国を含むアジアの人達が暮らしています。食や味からの共通点は「醤」であり、味

## 「やってみなはれ。」の精神で（サントリーの創業者・鳥井信治郎）



コチュジャン



味噌



醤油

これらはアジアの「醤（ジャン）文化」でつながっている。



旧田中家住宅  
(国登録有形文化財)



サントリーの創始者 鳥井信治郎  
「やってみなはれ」が口ぐせだった

… 新井 俊雄（株式会社アライ代表取締役）

## 川口の地域資源として「味噌」を再考する

昔から川口の伝統産業といえば「キューポラのある街」「イコール「鋳物のまち川口」となります。後は、「安行の植木」というところでしょうか。実はまだまだ沢山あります。上青木地区では「釣竿」なども有名で昔は「ものづくり」の街として川口の産業を支えていました。

その一方、「食」という視点でも素晴らしい伝統産業があったという事は川口市民でもご存知ない方もいらっしゃるかもしれません。昨今の「ご当地グルメ」ブームでデパートでもスーパーでも人寄せの道具として人気を博しており、西川口で開催された「埼玉B級グルメ選手権」には3万人に近い人が西川口に集合しました。そのような取り組みができた前提として、川口の「味噌醸造業」の歴史があります。江戸末期から明治、大正、昭

噌のルーツを辿ると、やはり中国（豆板醤・豆鼓）や朝鮮半島（コチュジャン）であり、その先は東南アジアの魚醤（ナンプラ）にも通じます。この正しい「醤ロードの街」として西川口の魅力づくりが出来ないものかと想います。目下、地元飲食店の方たち、早稲田大学、大手飲料メーカーにも声を掛けして共同研究に向けて動いています。

## 若手の店主とのコラボ

西川口で活動する中で、多くの方たちと接する機会が増え、街の再生に向け真剣に取り組んでおられる方達があり、幾つかの試みに一緒に携わるようになって来ました。

その一つが「埼玉B級グルメ選手権」への出場です。当日の地元の人達の同世代が競いながら、お互いに声援や応援を送っている光景を見ると西川口にも熱い人が沢山いるのだと判り、大変嬉しくなりました。

もう一つは、ただ元氣だけでなく真面目に料理の味の研究に取り組んでいる事です。取り組みとして、ユニバーサル商店街の構築に向けて埼玉県産の食材を使ったメニューづくりやお弁当づくりのワークショップを開催したり、早稲田大学の学生さんの力を借りて四ヶ国語でメニュー表記を作成したり、その為の試食会など非常に前向きで楽しく頼もしい地元商店主の方がいるのは心強い限ります。



## チャレンジキッチンの可能性

現在の西川口にはこのような沢山の可能性が出てきています。それらを大きく育てるためにはさらにいくつかの仕掛けづくりが新たに必要です。ひとつは、暮らしの創造的な環境づくりの視点です。将来の自分の夢を実現する為に頑張るミュージシャンやアーティストが集まるシェアハウスをつくることです。

それに加えチャレンジの舞台づくりの視点です。その舞台となる施設やミニ劇場を現在の空きビルをコンバージョンしてつくるなどが考えられます。

それらを中心にして、飲食店経営を目指す人達（日本人だけに拘らず外国人も含め）の登竜門のコンテスト、お国自慢の料理コンテストや我が家の料理自慢大会、各地各国の味噌、醤油（ジャン）、たれにこだわったメニュー開発、県産食材など地産地消などのテーマに沿った料理を作ることができるレンタルキッチンのような施設を設け、意欲のあるチャレンジの舞台を用意することは、まちの賑わい創出からも大きな効果があるのではないかと思います。

## まちづくり合同会社

西川口は沢山の可能性を秘めています。一方で、それらを解決していく為の多くの課題や問題があり、ひとつひとつ乗り越えてやっていく事は、

## NEXT 西川口

# 西川口ユニバーサル商店街実行委員会

## 西川口、その昔

西川口の風俗街の歴史は、およそ三五年になります。店側なりに地域と共存していくために必死で、周辺地域には迷惑をかけないという暗黙のルールがありました。ソーブランドの呼びこみの人は蝶ネクタイをして身なりもきちんとしていました。学校や塾の行き帰りの子供たちに「どこにいくんだ、気をつけてな」などと声をかけてくれる人もいました。

昔の旦那衆に聞くと、「呼びこみにもプロの道がある」のだそうです。遊びたい人と、そうでない一般の通行人をきちんと見分けて、前者の人であれば指一本で背中を押してすつと中へ招き入れる。それでこそ一人前の客引きという意識があったそうです。

やがて赤羽で摘発されたヘルス業者が西川口に移ってきました。この頃から過激な違法風俗、いわゆるNK流が流行りました。呼び込みはキャッチといわれるようになり、のべつまくなでした。摘発される直前の西川口は本当にひど

## アジア「醤ロードの街」、登竜門のまち西川口をめざして

個人や中小の商店だけではなかなか難しい面があります。同時に、行政頼りでこの街は果たして変わっていくのかという疑問もあり、私たちの仲間が中心となって「やってみなはれ」の精神で合同会社を設立しました。

まだスタートしたばかりで何をどのくらい出来るか未知数ですが、前文の中に事業としての可能性があると思います。地域の発展やニーズの高いものから前向きに検討し、個人では出来ない行政では出来ない事をこの合同会社で夢の実現に向け、西川口が「こうなったら楽しいナ、便利だナ」という多くの皆さんの声や呟きを反映し実践して参りたいと考えています。



「チャレンジキッチン堂島」（大阪）

独立開業を希望する若手料理人を公募し、技術力（調理）と独立開業運営計画を審査し、合格者の独立開業をサポートするプロジェクト。

写真提供 「山本侑貴子のダイニング&スタイルな毎日」

<http://ameblo.jp/diningandstyle/>

## 小久保亮治（二幸・ユニバーサル商店街実行委員会委員長）

けんちんせいろ  
あたたかい汁と冷たいそばのハーモニーの食感。



おそばやさんのハヤシライス  
そばつゆをつくるためのかえしが隠し味。B級グルメ大会2位入賞。



## 西川口の商業環境

かつてです。男性を見ると「遊ばない?」、女性にも「働かない?」と立ちふさがられ、地元の人でもまっすぐ歩けないくらい、それも朝からでした。そのため風俗目的の客以外は駅前寄りつかないようになってしまいました。商店会はほとんど困り果てて警察になんとかしてほしいということで生活安全課にお願いしたのです。そこに国の大きな政策の流れが重なったのだらうと思います。

西川口は、飲食店からすれば本当に商売の難しいところです。地理的にも、南は荒川、東はJR京浜東北線、西は埼京線で区切られています。その三角形のエリアでは、どうしてもお客さんが限られてきてしまいます。それゆえ固定したお客さんを大切にしようという気持ちで商売をするようになります。昔は風俗店からの出前も多くありました。それに依存していた店もありました。今はかなり減りました。

外から新たな顧客を呼び込もうという意識は



必ずしも高くありません。どうしても固定のお客さんを大切にしていればなんとかなるだろう、という従来の延長のままだと考える「心のくせ」が抜け切れていません。

## 個店にとつてのB級グルメ

B級グルメのまちづくりの流れに、どう乗るか各店それぞれ考えています。積極的に乗っていい店と、どちらかといえば他人事という店があります。自分の商売の仕方では乗れないので、もっと別なメニューを行政や関係者に考えてもらいたいという希望の店がかなりあるのだと思います。

## 他人任せでは「じり貧」

この不況ですから、思いきって値下げしたほうがお客さんが増えるか悩みます。千円出して食事をする人は西川口ではかなり限られます。値引きをして新規顧客を開拓するか、値下げせず現在の顧客をしっかり掴んで放さない商売をするか、どちらをとるか考えますと、前者に踏み切ったところで客が増えるかはわかりません。西川口は残念ながら現状の地域イメージが弱く、わざわざ食べにこようという人は少ないです。リスクが高いので、後者を選ぶ結果「そ

## 個店の活性化なくして

### まちの活性化なし

まちの活性化と魅力ある店づくりは「たまたごとにとり」の関係だと思っています。昔はどちらかといえば、にわとりが先でした。「商店街のイベントの準備のためには店を休め」という雰囲気もありました。おかげで私の商店会のメンバーは「イベントなれ」しています。誰かれ指示することなく、全員がジェネラリストで、テントを借りてきて立てるときも撤収するときもあつという間です。やはりコミュニケーションがまちづくりをまわす上でもっとも重要です。二代目の私たちは、どちらかといえば、たまごが先、個店の活性化なくしてまちの活性化なし、と考える傾向が強いと思います。この西川口で仕事をするのを自分の意思で選んだのですから、自分なりのやる気を核にして、それぞれの店が商売に、そしてまちづくりに頑張ってもらいたいと思います。

チャレンジ店舗で入ってきた店に負けてはいられません。私の店でも、いつもあれこれ新メニューを考えています。チャレンジ店舗のお店だけでまちにお客さんを引き付けるのも難しいだろうと思います。可能性をいっしょに掘り起こしてゆきたいと思っています。

## コミュニケーションがまちづくりをまわす

### 大学との協働まちづくり

まちづくりは私たち商店経営者だけできる訳ではありません。制度をどう活用したらいいかは、専門家のサポートが欠かせません。もちろん行政や商工会議所にはお世話になっていますが、コ・ラボ西川口が地元に来てから、従来とは別な情報が入ってくるようになりました。学生さんならではの発想、きめこまかな専門的支援で新しい活動がすこしずつでき始めています。

このようなメリットが実際にあることを具体的にわかりやすくまちに伝えながら、ユニバーサル商店会実行委員会や大学との協働まちづくりを広めてゆきたいと思っています。今度の夏にはビアガーデンができたと思っています。商店会のみならず地元の小中学生と大学生の交流連携もできたらと期待しています。



からせんじゅ

話していたら「どうですか」と出してくれた。見た目はからすみに良く似ていますが、タラやサメの卵からつくるもので、能登の味だそう。火であぶってからスライスし、きゅうりとネギに乗せ、オードブルに。埼玉ネギと合わせ海と山の融合の味。



地域資源研究会  
実行委員会の活動から生まれたアウトカム  
(波及効果)



第1回ユニバーサル商店街実行委員会  
(2010年1月25日)

こそこおいしい、こそこの値段、こそこの満足度」という路線に行きついてしまうのです。しかしそれではじり貧です。古いお客さまは高齢化して減ってゆきますし、あたかも、じわじわと冷たい水が下から上がってきて、首までできている、いつかは溺れてしまう、そんな感覚です。

そろそろ限界です。埼玉高速鉄道が出来たことで、西川口が市内の北へのバスルートの起点、北への玄関口という位置づけも弱くなりました。外部環境は大きく変わっていますので、常に新しい時代に適応していかなければなりません。

## 頼もしい二代目ネットワーク

西川口の商店経営者には二代目が何人かいます。もともと地元の小中学校が一緒で仲が良く、商店連合会青年部で活動してきましたので、組織を越えた活動に慣れています。昔は8つの商店会のもちまわりでイベントをしていました。今年のうち、来年はあちら、という具合です。二〇年前にはキャラバンやスタンプラリーをしたこともあり。活性化の意見交換の機会も自然とありました。現在まちづくりに積極的な人も多いので、二代目も頑張つて地域貢献できればと思います。



学生が選んだ西川口グルメ

## コンビニエンスストア

**コ** スモスさんは西川口の激動の時代からあるお店で、地元に住民からも愛されているお店です。お店の中は広く、チェーン店にはないような品物が多く置いてあります。コスモスさんのオススメはなんと行っても手作り弁当。その日の午前中に作ったできたてのお弁当が290円〜という驚きの価格。



安くてもおいしい!の「290円弁当」。

## コスモス 西川口店

290円弁当は、安いだけではなく栄養のバランスにも配慮していて、食べ盛りの学生、健康に気を使うサラリーマンの方にもびつたりな一品です。

とてもお得な290円弁当に最初に目がいきがちですが、実はお得だと思うのが、バランスもボリュームも十分な390円弁当シリーズ。いっ



味もボリュームも抜群!の「390円弁当」

しょにお味噌汁をつけてもワンコインで充実した食事をとることができるのはうれしいですね。お弁当はメインディッシュのほかに、箸休め(サイドディッシュ)のおかげがいくつかついていきます。いくつか組み合わせの種類があり、好きなものを選べます。

490円弁当シリーズでは、炊き込みご飯など、ワンコインでもとてもグレードの高いものを食べる事ができます。

量や内容の好みに合わせて選べるコスモスのお弁当。メインディッシュの種類も豊富なので、ぜひ一度召し上がってみてください。



こちらは店長オススメのドライマンゴー。癖がなく、フルーティーであつという間に一袋がなくなってしまう。

## 4カ国語で紹介! 学生が選んだ 西川口グルメ見てある記

メニュー作成のためのレストランでの打ち合わせ





学生が選んだ西川グルメ

## そば処 二幸

西 川口駅前徒歩1分にある二幸は、正統派そば屋さんで、工夫をこらした独自メニューが楽しい店です。お蕎麦は通常のお店よりちよつと多めで食べ応えがあります。そばと丼物のセットメニューが充実、日替わりランチはボリューム満点でおすすめです。

天ぷらでお酒を飲むのもこれまた乙。ビール



2009年のB級グルメ大会で第2位の「おそばやさんのハヤシライス」独特の甘さがご飯と合う。

の大ジョッキは巨大サイズでよく冷えています。珍しい焼酎（もぐら、など）もあります。店主の小久保さんと奥様は気さくで、時間のあるときにはお蕎麦について教えてください。

このお店では是非味わっていただきたいのは「おそばやさんのハヤシライス」。B級グルメ大会で入賞した逸品です。そばつゆに使うかえしを加えた二幸のデミグラスソースには独特な甘みがあり、子供にも親しみやすいものになっています。また、



ごま油が香ばしい「けんちんせいろ」。暖かいお汁と冷たいそばの組み合わせが食欲をそそる。

濃厚なルーがたっぷりご飯にかかるようにできているので、じつくり味わいたんのうすることができそうです。

また、けんちんせいろもおすすすめ。ごま油でさつと炒めた野菜がたっぷり入ったお汁は香ばしく暖かく食欲をそそります。

地元の食材を使った新メニューも日々考えているそうです。新たなメニューが登場する日もちかいかも知れません。

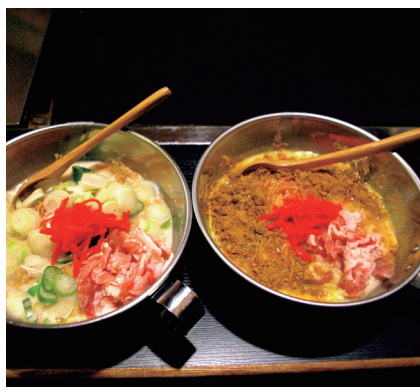


真剣な表情で調理をする小久保さん。

普段はとても気さくに声をかけてくれます。

学生が選んだ西川グルメ

## ぼったろ げそ家



見た目はもんじゃ焼きと変わらないが、ポイントは具とタネをいっしょに流し込むところ。いくつかのトッピングを加えるとよりおいしい。ぜひオリジナルの組み合わせを開発してみよう。



たこ焼き（中身はゲソ）も自分で焼く。丸く焼くのが難しいが、その分つくる楽しさがある。焼いてもらうことも可。



ポンビー焼きそばは、インスタント麺を使ったまさにポンビーな焼きそばだが、味はけっしてポンビーではない。

## ぼ

ぼ ったらってどんな食べ物なのか、すぐにピンとくるでしょうか。「もんじゃ焼き」といった方がわかる方が多いのかもしれない。「ぼったろ」と呼ぶのは、ここ川口市や草加市、それから千葉の浦安だけのようです。お店の方に聞いてみると、もんじゃ焼きのように土手を作らないのだそう。

げそ家ではほとんどのメニューで一人前三百円〜四百円とリーズナブル。でも昔はキャベツなどが具で、もっと安くやすつぽいものだったとのこと。懐かしい味の方もあれば、きつと初めての味の方もいると思います。

もんじゃとは少し違って、熱い鉄板にタネを一気に流し込みます。しばらく混ぜてからお好みでソースや鰹節、青のりをかけて食べます。タネには味がついているので、そのままでも十分食べられますよ。ぼったろ以外にも鉄板焼きやポンビー焼きそば、たこ焼きなどもあります。

どれもみんなでワイワイ飲んで楽しみなながら作って、食べる事ができるのがいいですね。

もんじゃとは一味違う川口ならではの「ぼったろ」を味わってみてはどうでしょうか。



学生が選んだ西川口グルメ

## 創作洋麺 光や



(右) ツナ&ホーレン草：トマト味のスパゲッティ。具がたくさんののっているのがうれしい。

(左) ミートライス（ハーフ）：新しい洋食登場！ミートソースがライスと合います。

## 西

川口駅東口の小さなビルにあるのは創作料理の光や。おしゃれで落ち着いた雰囲気のお店です。

「創作」とあるように、このお店で出すのは一風変わったメニュー。特製のミートソースをご飯にのせた「ミートライス」は、食べてみるとパスタにはないご飯のほかほか感がたまりません。ミートライスのミニもあるので、パスタといっしょにミニを頼むこともできます。

パスタは、味はもちろん大盛りにしなくても大丈夫な量で大満足。サラダやスープに、食後のソフトドリンクまでつくので、しっかりのんびり



キノコの辛ミート：ピリッと辛みのきいたミートソースと

いろいろなキノコのコンビネーション



小海老のクリーム：ぶりぶり海老クリームを滑らかなク

リームと絡めて食べるとおいしい。

食事でも食後も快適です。全体的に店の雰囲気落ち着いていて、食後にコーヒーを飲みながらゆっくりくつろげます。西川口では、こうしたお店がなかなか無いので、この食後のひとときがとてもうれしいです。店内の雰囲気だけでなく、店員さんのサービスも良く、注文時には苦手なものの配慮（ニンニク、ピーマン等）など行ってくれるなど、とてもアットホームで度々利用したくなるお店です。

学生が選んだ西川口グルメ

## 珈琲専門店 ぽえむ西川口店

## 店

内は落ち着いた雰囲気、3〜5名のテーブル席が10席ほど。このお店は20年くらいやっているそうで、昔は満席も多く、お客さんを帰さざるを得ないほどでしたが、今はチェーン店や安い店がどんどんできて、昔ほどではないとのこと。

2階という立地もあり、なかなか

見つけれなかったり、入ってきにくかったりということもあるようです。本当に落ち着く店内なので、1回来たら常連になる方が多いという話も納得です。

本物のおいしいコーヒーとくつろげる空間は西川口で貴重なお店となっています。



おちついた室内。コーヒーのいい香りとともに、ゆっくりした時間を過ごせる。

## 学生が選んだ西川口グルメ／ショップリスト

### そば処 二幸

住所：川口市西川口1丁目5-4

電話：048-255-4000

### 珈琲専門店 ぽえむ 西川口店

住所：川口市西川口3丁目31-9

電話：048-257-1506

### ちやい九炉

住所：川口市西川口1丁目28-2

電話：048-255-7777

### ぽったら げそ家

住所：川口市西川口1丁目3-17

### コンビニエンスストア コスモス 西川口店

住所：川口市西川口1丁目33-3

電話：048-255-0752

### 創作洋麺 光や

住所：川口市並木3丁目10-13 2F

電話：048-258-9939



おすすめメニュー  
*Our Specials*



かに玉風弁当 ¥290  
*Crab ball lunch box*  
게달갈부침 도시락  
蟹和蛋便当



シューマイ弁当 ¥290  
*Shumai lunch box*  
찐만두 도시락  
烧卖便当



きのこあんハンバーグ弁当 ¥390  
*Mushroom and Hamburger lunch box*  
버섯 햄버거 도시락  
蘑菇汉堡牛肉饼便当



紅鮭弁当 ¥390  
*Red salmon lunch box*  
붉은연어 도시락  
三文鱼便当

コスモス

異味香  
煎人餃子

せん にん ぎょう ざ  
*Sen-nin Dumpling 만두*

川口B級グルメ大会 入賞  
“Kawaguchi B-class Gourmet King Contest 2009” Winning a Prize  
가와구치(川口) B급 구르메 대회 입상



ジャンボ、もっちり、ジューシー！  
Jumbo, Tender, Juicy!  
점보, 연하다, 수분이 많은！

¥ 380

通信販売 始めました  
Mail Order Start !



<http://www.yihweyshiang.com/>  
煎人餃子は、ご家庭のフライパンでも簡単に美味しく焼くことが出来ます。また、レシピを同封しておりますので、安心してご注文下さい。



# おすすめメニュー

## Our Specials.



### B ボンビーやきそば

¥ 380

Simple Stir Fried Noodles  
폼뻬야끼소바  
炒面



### C たこ焼き (中身がゲソです) ¥ 500

TAKOYAKI (Squid Dumpling)  
야끼소바 (문어 다리)  
章鱼小丸子 (里面是墨鱼腿)

## BOTTARA

"Bottara" is a type of Japanese pan-fried batter with various ingredients. It is similar to okonomiyaki but bottara is a specialty of the Saitama region, and made with a dough more liquid than is okonomiyaki. The ingredients are finely chopped and mixed into the batter before frying. The mixture is far runnier than okonomiyaki, and it has a consistency comparable to a pool of melted cheese when cooked. It is then eaten directly off the grill using a small metal spatula.

## 봇타라

"봇타라"는 다양한 재료를 넣은 일본식 지지미의 한 종류입니다. 오키노미야끼와 비슷하나, 사이타마 가와구찌지역의 명물로 오키노미야끼보다 수분을 많이 함유하고 있습니다. 각종 재료를 잘게 잘라 섞어 반죽을 한 후, 치즈형태로 얇게 펴서 구우면 완성입니다. 그러나 조리방법은 자유이며, 자신이 먹을 만큼 덜어서 만드시면 됩니다. 우리 집은 순수 기름과 다시를 사용하여 더욱 자급심을 가지고 있습니다. 그 맛을 느껴보세요.

## 好达拉

"博塔拉"是日本料理的一种,它含有多原料的煎饼.它是“博塔拉”但又和大阪烧相似,是埼玉县的特产,比起大阪烧,他加入了更多的湿面团.在煎之前,恰到好处地切细原料,然后把把这些原料和煎饼混合.当制作时,比起大阪烧,这种混合物更加的松软,而且比起一片融化的奶酪,它更有粘稠度.用个小铁勺就可以直接吃了.

# ぼったら げそ家 おすすめメニュー

## Our Specials.



## A ぼったら (1人前)

¥ 300

BOTTARA

봇타라

好达拉

### おすすめのトッピング組み合わせ

#### Popular Toppings 토핑 調味料

#### • 豚とネギ (+ ¥ 150)

Pork & Welsh Onion  
돼지고기,  
猪肉, 葱

#### • 豚とカレー (+ ¥ 150)

Pork and Curry Powder  
돼지고기, 카레가루  
猪肉, 咖喱粉

#### • 明太子とチーズ、もち (+ ¥ 200)

Mentaiko, Cheese & Rice Cake  
명태알, 치즈, 떡,  
明太子, 奶酪, 年糕,



# ちゃい九炉

ちゃい九炉とは Child Clock = 子供時計・時間

Chi-Clo

大人になった今、子供の時に感じた様々な想いを大切に、子供心や遊び心を忘れずその頃に感じた夢や希望、感動、パワーを皆と共感できて純粋で楽しい時間を共にできる場を作り続け、提供し、すべての人をHAPPYにしたい。子供の時に感じた様々な想いの気持ちを新しい形で伝え続けたい。

## ちゃい九炉おすすめのお酒

## Our Specials

A

### 九つの想い

オリジナル焼酎。私達の想いをつめ込みました。

ボトル (720ml) ¥ 1,590

"Kokonotsuno-Omoi"

Our Original Shochu (distilled spirit) with our 9 Aspirations.

코코노즈노 오모이

오리지날 . 정성을 담았습니다 .

九个创意

原创 包涵了我们的创意

B

### 玉乃光 純米吟醸 山麴仕込

京都・伏見「玉乃光」から、昔ながらの製法で通常の倍の時間 (約 30 日) をかけて育てた山麴仕込。

¥ 609

Jummai-Ginjo "Yamahai" (from Kyoto)

"Yamahai" is classic process brewing sake with special polished rice

준마이 진조 "야마하이"

예로부터 교토에서 전해 내려온 제조법을 사용하여 보통 두 배 정도의 시간이 (약 30 일) 걸려 만든 야마하이 .

純米吟醸 山麴

通过原始的方法,比一般制法多一倍的时间(大约 30 天)完成

C

### 紅赤金時 (芋焼酎 埼玉県)

幻の芋「紅赤芋」使用の芋焼酎。

¥ 724

Beniaka-Kintoki (from Saitama.)

Local specialty shochu in Saitama Pref and it is made with "Beaka-imo" (precious sweet potato)

베니아카 킨토키 (사이타마)

작은 감자 "베니아카 이모" 를 사용한 소주 .

紅赤金時 使用埼玉县

嫩薯“红薯”的烧酒。

D

### プレミアムモルツ 生中ジョッキ

¥ 514

Premium Malts Draught beer (Medium Mag)

프리미엄 몰트 생맥주 (중) 조키

品牌酒 生啤 中杯

E

### 角ハイボール

¥ 409

Highball with "KAKU" whisky.

각하이볼

苏打水加冰威士忌

# ちゃい九炉

ちゃい九炉とは Child Clock = 子供時計・時間  
"Chi-Clo" means "Child Clock",

Chi-Clo

大人になった今、子供の時に感じた様々な想いを大切に、子供心や遊び心を忘れずその頃に感じた夢や希望、感動、パワーを皆と共感できて純粋で楽しい時間を共にできる場を作り続け、提供し、すべての人をHAPPYにしたい。子供の時に感じた様々な想いの気持ちを新しい形で伝え続けたい。

## ちゃい九炉おすすめの逸品

## Our Specials



### Specials. 1

#### 串もん 煮込み盛り

¥ 890

Combination of Simmered Skewered Meats and Vegetables

썸 세트

杂煮大碗分



### Specials. 2

#### 朝豚 炸猪肝

¥ 490

Dairy Fresh Pork's Rare Roasted Liver

아침에 잡은 돼지 . 간 요리 .

돼지간을 살짝 익혀 신선함을 자랑합니다 .

朝的猪 炸猪肝 快速的炸一下猪肝,是新鲜度极高的绝品



### Specials. 3

#### 店仕込み 自慢の揚げたてがんも

¥ 380

Freshly-Fried Specialty Gammo (Fried Tofu and Vegetables)

가게에서 직접 만들 . 튀김 간모 (두부, 달걀, 야채) 를 꼭 채웠습니다 . 주문을 즉시 튀깁니다 .

本店制作 油炸豆腐 融入了泽山的



# おすすめメニュー

## Our Specials.



**B** サーロイン・ステーキ (200g) ¥ 3,000

Sirloin Steak  
등심 스테이크  
牛腰肉排



**C** 大きな海老フライとチーズハンバーグ ¥ 800

Fried prawns & Cheese hamburger steak  
새우 튀김 & 치즈 햄버거 스테이크  
油煎の大虾 & 乳酪汉堡牛排

**X** ライス ¥ 250  
Rice 밥

**Y** パン ¥ 250  
Bread 빵



**D** サービス・ステーキ (180g) ¥ 1,950  
スープ、サラダ、アイス、コーヒー付き。

Service Steak  
( With Soup, Salad, Ice-cream and Coffee )  
서비스 스테이크  
수프, 샐러드, 아이스크림 및 커피 포함  
为牛排 (用汤、沙拉、冰淇淋和咖啡)



**E** ビーフ・シチュー ¥ 900

Beef stew with salad  
쇠고기 스투 (샐러드 포함)  
炖牛肉用沙拉

# Restaurant NEW ニコー

## おすすめメニュー

## Our Specials.



**A** ハンバーグ・ステーキ (180g)

Hamburger steak  
汉堡牛排

햄버거 스테이크  
¥ 700



# おすすめメニュー

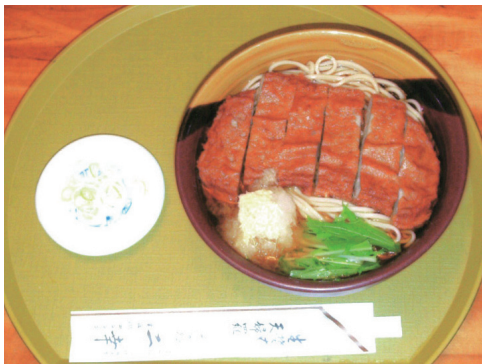
Our Specials.



**A** きのこなべセット ¥850  
Simmered Mushrooms Nabe with Udon and Rice  
버섯찌개세트  
蘑菇沙堡套餐



**C** けんちんせいろ ¥850  
Chilled Soba Noodle with Simmered Vegetables  
켄징세이로 (야채 국물과 소바)  
荞麦面套餐 (加豆腐, 香菇等)



**B** 瀬戸内じゃこ天そば ¥800  
Hot Soba with Tempura of Whitebait's Ground Meal  
어묵 (작은 생선살) 튀김 소바  
天妇罗荞麦面



**D** かきおろしそば ¥900  
Hot Soba with Simmered Oysters and Grated Japanese Radish  
굴 소바  
牡蛎萝卜丝荞麦面

**E** もり ¥800  
Japanese soba noodles served on a bamboo platter  
모리  
荞麦面 (中盘)

# そば処 二幸 おすすめメニュー

Our Specials.



**F** おそばやさんのハヤシライス  
Hashed Beef Demi-Glace Rice 하야시 라이스  
荞麦面店的盖浇饭

蕎麦のかえしを使ってじっくり煮込んだデミグラスソースの懐かしい味  
special demi-glace sauce stewed with Kaeshi (sweetened soy sauce)  
소바의 다시를 사용하여 정성스레 만든 데미 그레이스 소스의 맛을 느껴보세요.  
用荞麦面的汁煮法国风调味料, 具有怀旧的风味

2009 年川口 B 級グルメ大会 入賞

Kawaguchi B-Class Gourmet Contest 2009 Prize Winning

2009 年 가와구찌 B 급 구르메대회 입상

2009 年川口 B 级料理大会 获奖





### Specials. 2

#### ドネルケバブ

子羊のひき肉を回転させながら焼きました。世界に広がる中東の肉料理。

¥ 800

DONER KEBAB

Roasted and dressed lamb meats.

토넬 케밥

土耳其肉串



### Specials. 3

#### マンサフ

スパイスたっぷりの中東のチャーハン。

¥ 1,000

MANSAF

Middle Eastern fried rice with lamb meat.

만사프

香料味十足的炒饭



### Specials. 4

#### バクラワ

サクッとした食感としっとりとした甘さが特徴の、中東で人気の甘いペストリー。

¥ 300

BAKLAVA

Rich and sweet pastry made of layers of phyllo dough filled with chopped nuts and sweetened with honey.

바클라바

土耳其风甜点

## Our Specials おすすめの逸品

## Green Grass Palestinian Cuisine

パレスチナ料理



### Specials. 1

#### ドネルサンド

¥ 600

DONER SAND

Doner Kebab wrapped in pitta bread with salad and dressing

토넬 샌드



# あとがき

## ユニバーサル商店街実行委員会について

### (目的)

西川口駅西口地区の商店街は、かつて違法風俗店が200以上軒を連ねていた繁華街、歓楽街であり、平成16年度以後の県警の一斉摘発で姿を消した。地域イメージを向上させるため、平成21年度、大学と連携して国際化など既存の各商店会組織では個別に対応しにくい共通の課題について、組織の垣根を越えた社会実験的な活動を、既存の商店会組織の諒解と支援のもと推進することを目的に活動した。

### (期間)

2009年12月～2010年3月

### (実施した具体的な事業内容)

1. 誰でもわかりやすいメニュー表づくり
2. ブログ「西川口見てある記」での情報発信

### 3. 試食会&メニュー開発

#### (1) 離島キッチン

#### (2) お弁当開発ワークショップ

### 4. 「からくり人形カフェ」の開催

### 5. ユニバーサルメニュー表の作成

### 6. ワールド・カフェ(集中討議)の開催

### 7. まちづくり体制の勉強会

### 8. 小冊子「西川口ストーリー」の作成

### 9. ユニバーサル表記のEPO作成

### (実行委員会委員メンバー)

#### 小久保亮治(二幸)

#### 浅川 昭(コスメティックあさかわ)

#### 樋熊 一仁(金晶堂印房)

#### 山本 宗省(花好園)

#### 山田 慶忠(異味香)

#### 長嶋 一道(長嶋書店)

#### 田畑 伸一(越後屋)

#### 岡田 静夫(コスモス)

#### 新井 俊雄(香味亭)

#### 早田 幸(早稲田大学)

#### 岡田 昭人(同都市・地域研究所)

#### 木村 裕美(同都市・地域研究所)

朴 成賢(同大学院)  
橘 麻由(同大学院)  
李 曉婷(同大学院)

### (事務局)

梅宮 路子(全国商店街支援センター)

### (事業協力)

山田たみ子(NPO法人志民アシストネットワーク)

村上 弘(小野田土地建物株式会社)

半屋 春光(からくり人形師)

佐藤 喬(海士町観光協会)

大久保昌俊(文筆家)

石塚 高秋(早稲田大学)

野口 琢生(同上)

江田佳那子(同上)

奥西 耕輔(同上)

米野あゆみ(同上)

四ノ宮紀昭(同上)

高木真唯美(同上)

山川賢一郎(イラストレーター)

諸我 将史(イラストレーター)

## イラストレーター

### 山川賢一郎×もろがまさし



西川口ストーリーはどうでしたか？



小冊子・広告カットイラスト、人物・ペットの似顔絵・肖像画をコンビで描いている。

山川は「絵が苦手な人のための絵画教室」を富士通オープンカレッジ川口校にて開催中(月1回/日・祝日/不定期/PM14:00-16:00)。090-9480-2745(山川)

### 表紙写真

上「CASK and STILL」(川口市西川口 1-2-4 仁志町ビル B1F)

下「串もん酒場ちやい九灯 西川口西口店」(川口市西川口 1-28-2)

2010年3月19日  
平成21年全国商店街支援センター  
商店街と大学の連携による協働体制構築事業  
報告書

コ・ラボ西川口  
埼玉県川口市西川口1丁目29-1  
<http://www.colabnishikawaguchi.jp/>



CO-LAB.  
Nishikawaguchi  
コ・ラボ西川口